

2021年度 事業計画書

公益財団法人
田 附 興 風 会

目 次

1. 財 団 運 営

理事会、評議員会の開催

2. 主 た る 医 学 研 究

(1) 2021 年度研究課題

第 1 研究部（癌研究部） ----- 1

第 2 研究部（心、血管、肺、血液、障害研究部） ----- 9

第 3 研究部（代謝、消化栄養、体液平衡障害研究部） ----- 18

第 4 研究部（免疫、アレルギー、感染、病理研究部） ----- 23

第 5 研究部（精神、神経、感覚、運動器障害研究部） ----- 28

第 6 研究部（発生、再生、発達障害研究部） ----- 32

第 7 研究部（生体画像、医療機器学研究部） ----- 34

第 8 研究部（予防、医療疫学、検査医学研究部） ----- 35

第 9 研究部（薬学、生理学研究部） ----- 38

第 10 研究部（看護学研究部） ----- 39

第 12 研究部（東西医学研究部） ----- 39

(2) 地域医療研修センター事業・研究会の開催 ----- 41

(3) ～ (6) 学会発表 等 ----- 43

3. 医学研究所北野病院の運営

2021 年度事業計画 ----- 44

1. 財 団 運 営

- (1) 理事会の開催 (定例 6 月、2 月)
- (2) 評議員会の開催 (定例 事業年度終了後 3 ヶ月以内)

2. 主 た る 医 学 研 究

(1) 2021 年度研究課題

○2021 年度 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費助成事業 継続課題 (11 件)
△2021 年度 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費助成事業 申請課題 (16 件)
※2021 年度 AMED 関連事業 継続課題 (3 件)

第 1 研究部 (癌研究部)

部長	黄 政龍	(呼吸器 C 呼吸器外科)
研究主幹	岡田 卓也	(泌尿器科)
	宗田 武	(泌尿器科)
	樋口 壽宏	(産婦人科)
	寺嶋 宏明	(消化器 C 消化器外科)
	上田 修吾	(消化器 C 消化器外科)
	八隅 秀二郎	(消化器 C 消化器内科)
	杉之下与志樹	(消化器 C 消化器内科)
	高原 祥子	(乳腺外科)
	西村 貴文	(腫瘍内科)
	梶山 徹	(緩和ケア科)

乳腺外科系

【遺伝医学】

- 1 Multi-gene panel を用いた遺伝学的検査の遺伝カウンセリングモデルに関する研究 Ver.1
(高原祥子、小松茅乃、吉本有希子)
- 2 乳癌患者に対する、研究にて判明した遺伝子変異の結果開示における遺伝カウンセリングのニーズ及び効果に関する調査
(高原祥子、小松茅乃、吉本有希子)
- 3 BRCA 遺伝学的検査に関するデータベースの作成
(高原祥子、小松茅乃、吉本有希子)
- 4 遺伝性乳癌卵巣癌症候群疑い患者に対する BRCA1/2 遺伝子検査関連情報提示後の行動様式とその動機の研究
(高原祥子、小松茅乃、吉本有希子)
- 5 遺伝性腫瘍における医療格差の打開に必要なツールの検討 Ver.1
(高原祥子、小松茅乃、吉本有希子)

- 6 **HBOC 患者に対するリスク低減手術がもたらす心理・身体・社会的変化についての調査**
(高原祥子、小松茅乃、藤本優里、吉本有希子)
- 7 **家族性乳がん・膵がん患者の膵がん早期発見パイロットプロジェクト**
(吉本有希子、小松茅乃、高原祥子、八隅秀二郎)
- 8 **遺伝性乳癌卵巣癌におけるリスク低減手術の適応と効果解析**
(吉本有希子、小松茅乃、藤本優里、高原祥子)
- 9 **遺伝性乳癌高リスク患者に適した遺伝子パネル検査の探索**
(小松茅乃、吉本有希子、藤本優里、高原祥子)
- 10 **ゲノム医療にむけた院内体制づくりに関する研究**
(小松茅乃、吉本有希子、藤本優里、高原祥子)

【化学療法】

- 11 **多施設共同研究臨床試験：【KBCRN-B-003】手術可能なホルモン感受性 HER2 陰性原発性乳癌の術前療法として、ホルモン療法+パルボシクリブとホルモン療法+プラセボを比較する第Ⅲ相ランダム化二重盲検比較試験**
(高原祥子、藤本優里、吉本有希子)
- 12 **Oncotype DX 検査の術補助療法決定への影響およびその予後についての検討**
(高原祥子、藤本優里、吉本有希子)
- 13 **乳癌術前化学療法の効果および長期成績からみた臨床的効果予測因子の研究**
(高原祥子、藤本優里、吉本有希子)
- 14 **トリプルネガティブ乳がんに対するプラチナ製剤の抗腫瘍免疫増強作用に関する観察研究**
(高原祥子、藤本優里、吉本有希子)
- 15 **若年乳癌に対する妊孕性温存と治療方針についての意識調査**
(藤本優里、吉本有希子、小松茅乃、高原祥子)

【内分泌療法】

- 16 **ER 陽性転移乳癌におけるアベマシクリブの効果予測並びに腸管毒性予測因子を探索する臨床研究**
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)
- 17 **転移再発乳癌に対する CDK4/6 阻害薬治療の効果と臨床的効果因子の研究**
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)
- 18 **アロマターゼ阻害薬 (AI) 内服中のホルモン陽性閉経後乳癌患者における骨代謝関連因子とビスホスホネート製剤に対する治療反応性に関する探索研究**
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)

【その他】

- 19 **乳がん微小環境形成に関わる分子生物学的機序の生体試料を用いた探索研究**
(高原祥子、藤本優里、吉本有希子)
- 20 **葉状腫瘍の至適診断・治療についての検討**
(吉本有希子、藤本優里、高原祥子)
- 21 **cStageI 乳癌におけるセンチネルリンパ節生検の必要性の検討**
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)
- 22 **乳癌におけるセンチネルリンパ節生検の有用性とその予後因子の検討**
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)

- 2 3 トモシンセシス・3D マンモグラフィの石灰化診断における有用性の研究
(高原祥子、藤本優里)
- 2 4 ICG を用いた乳癌腋窩郭清における上肢リンパ管温存に関する研究
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)
- 2 5 高齢者乳癌の治療選択とその予後について
(藤本優里、吉本有希子、高原祥子)

泌尿器科系

- 1 尿路上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療の多施設共同観察研究
(小池修平、岡田卓也、池内亮介、宗田 武)
- 2 ホルモン感受性転移性前立腺癌の治療実態に関する前向き研究
(池内亮介、小池修平、宗田 武、岡田卓也)
- 3 前立腺肥大症に対する経尿道的レーザー蒸散術 (PVP) の有用性に関する検討
(小池修平、池内亮介、宗田 武、岡田卓也)
- 4 難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱内注入療法の有用性の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)
- 5 小径腎癌に対するロボット支援腎部分切除術の安全性の検討
(岡田卓也、小池修平、池内亮介、宗田 武)
- 6 前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘術の臨床的有用性の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)
- 7 前立腺癌に対する Ra223 製剤の有用性に関する検討
(池内亮介、小池修平、宗田 武、岡田卓也)
- 8 過活動膀胱に対する投薬状況の検討
(宗田 武、小池修平、池内亮介、岡田卓也)

産婦人科系

- 1 ロボット支援下の低侵襲広汎子宮全摘術の腫瘍学的予後の検討
(樋口壽宏、秦さおり、多賀敦子、山本 彩、河合恵理)
- 2 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の手術手技に関する検討
(山本 彩、吉岡弓子、奥田亜紀子、多賀敦子、久保のぞみ)
- 3 広汎性子宮頸部摘出術の腔式手術への発展
(吉岡弓子、小菌祐喜、多賀敦子、河合恵理、山本 彩、三枝 遥)
- 4 ロボット支援下の子宮体癌手術におけるセンチネルリンパ節検索の有用性の検討
(吉岡弓子、小菌祐喜、多賀敦子、山本 彩、久保のぞみ)
- 5 腹腔鏡下子宮全摘術における尿管損傷回避のための術式検討
(多賀敦子、樋口壽宏、秦さおり、河合恵理、福井希実)
- 6 腹腔鏡下子宮筋腫核出時の筋腫細切術の工夫
(秦さおり、樋口壽宏、小菌祐喜、山本 彩、福井希実)
- 7 婦人科癌手術における深部静脈血栓症の発生についての検討
(小菌祐喜、吉岡弓子、奥田亜紀子、河合恵理、竹内祐美子)
- 8 40 歳超高年初産婦の周産期予後に関する検討
(奥田亜紀子、多賀敦子、秦さおり、三枝 遥)
- 9 切迫早産管理時の Short term tocolysis の有用性に関する検討

(奥田亜紀子、多賀敦子、河合恵理、竹内祐美子)

消化器センター 消化器外科系

【食道】

- 1 食道癌術前化学療法無効症例を同定するための血清バイオマーカー探索
(上田修吾)
- 2 下部食道がん 接合部がんに対する腹臥位胸腔鏡下食道胃管吻合法における手技の工夫と治療成績に関する研究
(田中英治)
- 3 腹臥位胸腔鏡下食道切除における左反回神経周囲リンパ節郭清の合理的手技の考案と短期成績に関する研究
(田中英治)
- 4 下部食道がん・接合部がんに対する腹腔鏡下経裂孔的下縦隔郭清における解剖学的特性に基づいた手技の定型化と有用性に関する研究
(田中英治)
- 5 手術支援ロボット (da Vinci surgical system) を用いた食道手術における安全性、有用性に関する研究
(田中英治)

【胃・十二指腸・小腸】

- 6 StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としての TS-1+Docetaxel 併用療法と TS-1 単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 (JACCRO GC-07 (START-2)) におけるバイオマーカー研究 JACCRO GC-07AR2
(上田修吾)
- 7 StageⅢの治癒切除胃癌症例における TS-1 術後補助化学療法の予後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究 (JACCRO GC-07 AR)
(上田修吾)
- 8 大型 3 型/4 型胃癌に対する術前 TS-1+CDDP+DTX 併用療法による第Ⅱ相臨床試験 (OGSG1402)
(上田修吾)
- 9 Ramucirumab 抵抗性進行胃癌に対する ramucirumab+Irinotecan 併用療法のインターグループランダム化第Ⅲ相試験 (RINDBeRG 試験)
(上田修吾)
- 10 進行度 (病理分類) I、Ⅱ期胃癌患者の胃切除後の骨密度に関する前向きコホート研究 (LOHAS study)
(上田修吾)
- 11 腹膜播種を伴う胃癌に対する S-1/シスプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の第Ⅱ相臨床試験 (先進医療)
(上田修吾)
- 12 経口摂取困難な腹膜播種陽性胃癌症例に対する mFOLFOX6+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の探索的臨床試験
(上田修吾)
- 13 胃上部癌、食道胃接合部癌に対する術後 QOL 向上に寄与する胃切除術式、再建法に関する研究

- (上田修吾)
- 1 4 京都大学外科関連多施設における胃癌手術レジストリ
(上田修吾、田中英治)
 - 1 5 4 型進行胃癌に対する術後または周術期補助化学療法としての全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第Ⅲ相試験 (先進医療)
(上田修吾)
 - 1 6 切除不能進行性胃癌症例におけるニボルマブのバイオマーカー探索を含めた観察研究 (DELIVER 試験) (JACCRO GC-08)
(上田修吾)
 - 1 7 胃癌 Stage III の術後 Docetaxel+S1 (DS) 療法後早期再発症例に対する Ramucirumab+Irinotecan 併用療法第 II 相多施設共同臨床試験 (OGSG1901)
(上田修吾)
 - 1 8 胃癌手術症例のバイオバンク構築
(上田修吾、田中英治)
 - 1 9 完全腹腔鏡下胃全摘術におけるリニアステープラーを用いた吻合法の有用性と安全性に関する研究
(田中英治)
 - 2 0 手術支援ロボット (da Vinci surgical system) を用いた胃がん手術における安全性有用性に関する研究
(田中英治)
 - 2 1 切除可能胃癌に対する da Vinci surgical system (DVSS) によるロボット支援胃切除術の安全性、有効性、経済性に関する多施設共同臨床試験
(田中英治)
 - 2 2 腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合法に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治)
 - 2 3 2 型糖尿病を有する胃癌患者に対する幽門側胃切除術後の消化管再建法の糖尿病経過への影響に関する多施設共同後ろ向き観察研究
(田中英治)
- 【大腸】
- 2 4 直腸癌手術後における生活の質の調査 (直腸術後 QOL study)
(福田明輝)
 - 2 5 RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験 (PARADIGM 試験)
(福田明輝)
 - 2 6 大腸癌肝転移治癒切除後の患者に対する術後補助化学療法として、L-OHP ベース化学療法に FT/LV 療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性の検討
(福田明輝)
 - 2 7 局所進行下部直腸癌に対する術前補助化学療法の有効性と忍容性の研究 (Estneo 研究) の長期予後調査研究
(福田明輝)
 - △ 2 8 腫瘍発生の土壌となる遺伝子発現変化を制御することによる新規大腸癌予防薬の開発 (学術研究助成基金助成金 2021 年度 若手研究)

(奥知慶久)

【肝臓、肝切除、基礎研究】

- 2 9 食事制限による肝虚血再還流障害の制御機構の解明 (学術研究助成基金助成金 H30-R2 年度 基盤研究 C)
(寺嶋宏明、内田洋一朗、川添准矢)
- 3 0 NASH 肝癌発生過程を血液と肝臓プロテオームから解き明かす～ブタからヒトへ～
(学術研究助成基金助成金 2019-2021 年度 基盤研究 C)
(井口公太)
- 3 1 癌幹細胞の観点から見た肝癌におけるゲノム不均一性の解明 (学術研究助成基金助成金 2019-2021 年度 基盤研究 C 分担研究者)
(河合隆之)
- 3 2 生体由来3次元スキャフォールドを用いた再生肝臓による生存率改善と ECM 解析 (学術研究助成基金助成金 2019-2021 年度 基盤研究 C 分担研究者)
(河合隆之)
- 3 3 肝虚血再灌流障害におけるリコモジュリン分画製剤の抗炎症作用の機序解明 (旭化成ファーマ共同研究助成費)
(寺嶋宏明、川添准矢)
- 3 4 大建中湯における肝虚血再灌流障害に対する保護効果に関する基礎研究 (ツムラ受託研究助成費)
(寺嶋宏明)
- 3 5 同時性切除不能大腸癌肝転移に対する肝先行切除または原発先行切除の有用性および安全性の検討
(寺嶋宏明)
- 3 6 肝切除後肝再生・肝不全における脂質代謝ネットワークを探る
(井口公太)
- 3 7 肝切除後の予想残肝容量を増大させ、術後肝不全のリスクを回避する新しい肝切除術式 (ALPPS 手術) 導入
(河合隆之)
- 3 8 大腸癌肝転移治癒切除後の患者に対する術後補助化学療法として、L-OHP ベース化学療法に FT/LV 療法の逐次療法を行うことの安全性と有用性の検討
(寺嶋宏明)
- △ 3 9 肝虚血再灌流障害とその制御における概日リズムの関与
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(寺嶋宏明)
- △ 4 0 肝細胞癌における癌幹細胞を標的とした新規治療戦略構築に関する研究
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 若手研究)
(河合隆之)
- △ 4 1 イヌリンによる肝虚血再灌流障害の抑制—その炎症抑制効果と肝細胞保護効果について— (学術研究助成基金助成金 2021 年度 若手研究)
(宮内智之)

【胆道】

- 4 2 FDG-PET 陽性リンパ節転移を伴う切除可能胆道癌に対する術前ゲムシタビン/シスプラチン/S-1 併用術前化学療法 (GCS 療法) の有効性・安全性試験 (KHBO1201)

- (寺嶋宏明)
- 4 3 肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタビン/シスプラチン (GC) 併用療法とゲムシタビン/S-1 (GS) 併用療法の術後補助化学療法のランダム化第Ⅱ相試験 (KHBO1901)
- (上村 良)
- 4 4 全国胆道癌の後方視的観察研究
- (寺嶋宏明)
- 4 5 切除不能進行性又は転移性の胆管癌患者における FGFR2 遺伝子融合の頻度を調査する観察研究
- (河合隆之)

【膵臓、膵切除】

- 4 6 膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究
- (上村 良)
- 4 7 膵頭十二指腸切除術後残膵膵管拡張の臨床的意義とそのリスクファクターの同定：多施設共同前方視的コホート研究 (DAIMONJI-Study)
- (上村 良)
- 4 8 膵癌に対する GEM+ nabPTX 術前化学療法
- (寺嶋宏明、奥田雄紀浩)
- 4 9 糞便解析と栄養学的指標から検討した膵切除後脂肪肝の治療戦略
- (井口公太)

【その他】

- 5 0 Multi-gene Panel を用いた遺伝学的検査の遺伝カウンセリングモデルに関する研究
- (寺嶋宏明)
- 5 1 抗血栓薬 (抗血小板薬・抗凝固薬) 服用患者における消化器外科手術の安全性の検証
- (河合隆之、久野晃路)

消化器センター 消化器内科系

- 1 ERCP 関連偶発症に関する多施設共同前向き観察研究
- (八隅秀二郎、栗田 亮)
- 2 迅速ウレアーゼ試験における胃粘液検体からのヘリコバクターピロリ検出の検討
- (山内淳嗣、渡邊幸太郎、八隅秀二郎)
- 3 20mm以下の十二指腸非乳頭部在性腫瘍に対する Underwater Endoscopic Mucosal Resection (UEMR) の有効性に関する多施設共同観察研究
- (山内淳嗣、渡邊幸太郎、八隅秀二郎)
- 4 家族性地中海熱遺伝子関連腸炎の診断法確立
- (山内淳嗣、八隅秀二郎)
- 5 RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する mFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法と mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験
- (八隅秀二郎、高 忠之)
- 6 切除不能・再発膵がんを対象とした相同組み換え修復関連遺伝子変異を含む遺伝子検査を用いた前向きコホート研究
- (八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)

- 7 血液透析中の消化器癌患者に対する FOLFOX 療法の安全性と有効性に関する多施設共同臨床試験
(八隅秀二郎、高 忠之)
- 8 Cowden 症候群に対する実態調査
(山内淳嗣、八隅秀二郎)
- 9 大規模データベース構築から明らかにする急性下部消化管出血患者のクリニカルアウトカム
(山内淳嗣、八隅秀二郎)
- 10 閉塞性黄疸を有する 1 型自己免疫性膵炎に対する胆管ステント非留置下ステロイド投与の安全性評価試験
(栗田 亮、八隅秀二郎)
- 11 膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究
(八隅秀二郎、栗田 亮、高 忠之)
- 12 膵上皮内癌の画像・病理所見に関する多施設共同研究
(八隅秀二郎、栗田 亮)
- 13 家族性膵癌家系または遺伝性腫瘍症候群に対する早期膵癌発見を目指したサーベイランス方法の確立に関する試験
(八隅秀二郎、栗田 亮)
- 14 血液中 miRNA 測定による消化器癌の診断法確立に向けた研究
(森田敏広、八隅秀二郎)
- 15 Niti-s 大腸用ステントMD タイプ多施設共同前向き安全性観察研究
(山内淳嗣、八隅秀二郎)

呼吸器センター 呼吸器外科系

- 1 肺癌における抗腫瘍剤関連バイオマーカーに基づく個別化治療
(黄 政龍、長 博之、住友亮太、小林 萌)
- 2 悪性縦隔腫瘍におけるバイオマーカーに基づく個別化治療
(黄 政龍、長 博之、住友亮太、小林 萌)
- 3 Wnt 抑制ベクターによる癌核酸医療の開発
(黄 政龍、住友亮太)
- 4 肺癌における新規バイオマーカーの探索
(黄 政龍、長 博之、住友亮太、小林 萌)
- 5 悪性縦隔腫瘍における新規バイオマーカーの探索
(黄 政龍、長 博之、住友亮太、小林 萌)
- 6 肺癌切除例に対する術後補助化学療法を検討
(黄 政龍、長 博之、住友亮太、小林 萌)
- 7 肺葉切除における肺動静脈処理の順序と肺うつ血に関する研究
(住友亮太、黄 政龍、長 博之、小林 萌)
- 8 胸部手術術後疼痛に関する研究
(小林 萌、黄 政龍、長 博之、住友亮太)
- 9 バーチャル気管支鏡ナビゲーションを利用した術前気管支鏡下マーキング
(小林 萌、黄 政龍、長 博之、住友亮太)

腫瘍内科系

- 1 がん化学療法における有害事象に関する臓器横断的研究
(西村貴文)

病理学系

- △ 1 質量分析により 分子レベルでの品質解析をする創薬病理学領域
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 学術変革領域研究 B)
(鶴山竜昭)
- △ 2 プロテオミクス・形態データによるびまん性大細胞性 B 細胞性リンパ腫の分類提案
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 A)
(鶴山竜昭)
- △ 3 細胞シグナル伝達におけるエントロピー符号化の検証
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 挑戦的研究 萌芽)
(鶴山竜昭)

第 2 研究部 (心、血管、肺、血液、障害研究部)

部長	猪子 森明	(心臓 C 循環器内科)
研究主幹	北野 俊行	(血液内科)
	福井 基成	(呼吸器 C 呼吸器内科)
	丸毛 聡	(呼吸器 C 呼吸器内科)
	渡辺 健	(小児科循環器部門、心臓 C 先天性心疾患部門)
	羽生 道弥	(心臓 C 心臓血管外科)
	田村 暢成	(心臓 C 心臓血管外科)
	春名 徹也	(心臓 C 不整脈科)

血液内科系

- 1 慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する同種移植の有効性の検討
(瀧内曜子)
- 2 SBDS 蛋白の機能解析とその異常の Shwachman-Diamond 症候群の病型への影響
(柴田 翔、稲野将二郎)
- 3 ナノポアシーケンサーを用いた急性骨髄性白血病の MRD 追跡
(柴田 翔、稲野将二郎)
- 4 多発性骨髄腫の治療を妨げる細胞分画の同定
(稲野将二郎)
- 5 骨髄異形成症候群の進展における miRNA の関与
(稲野将二郎)
- 6 細胞内蛋白を標的とした分子標的治療の構築
(稲野将二郎)
- 7 糖尿病患者における血液疾患化学療法の安全な実施に関する研究
(田端淑恵)
- 8 多発性骨髄腫に対する新規薬剤の臨床研究
(田端淑恵、饗庭明子、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、河崎直人、北野俊行)

- 9 骨髄増殖性疾患に対する新規薬剤の臨床研究
(田端淑恵、饗庭明子、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、河崎直人、北野俊行)
- 1 0 再発難治低悪性度リンパ腫での、ベンダムスチン・リツキシマブ併用療法の予後因子の探索
(北野俊行)
- 1 1 HLA1 座不適合非血縁者間骨髄移植における従来型 GVHD 予防法と抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリン併用 GVHD 予防法の比較研究
(北野俊行、河崎直人、岡本吉央、稲野将二郎、瀧内曜子、田端淑恵、饗庭明子)
- 1 2 網羅的遺伝子検査を血液腫瘍の診療に役立てるための臨床研究
(岡本吉央、河崎直人、稲野将二郎、瀧内曜子、田端淑恵、饗庭明子、北野俊行)
- 1 3 中枢神経原発悪性リンパ腫における新規バイオマーカーの同定
(岸本 渉、河崎直人、岡本吉央、稲野将二郎、瀧内曜子、田端淑恵、饗庭明子、北野俊行)
- 1 4 ランゲルハンス組織球症の臨床研究
(田端淑恵、岡本吉央)
- 1 5 FL に対するガザイバの臨床研究
(田端淑恵、河崎直人)
- 1 6 HLA 半合致移植の臨床応用
(河崎直人、岡本吉央、稲野将二郎、瀧内曜子、田端淑恵、饗庭明子、北野俊行)
- 1 7 POEMS 症候群の自家移植とその後の経過
(田端淑恵、饗庭明子、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、河崎直人、北野俊行)
- 1 8 FLT3 阻害薬の臨床研究
(田端淑恵、饗庭明子、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、河崎直人、北野俊行)
- 1 9 HLA 適合または 1-2 allele 不適合ドナーからの同種末梢血幹細胞移植における移植後シクロホスファミドを用いた GVHD 予防法の有効性と安全性の研究
(北野俊行、田端淑恵、饗庭明子、瀧内曜子、稲野将二郎、岡本吉央、河崎直人)

呼吸器センター 呼吸器内科系

【肺癌関係】

- 1 肺癌免疫療法におけるバイオマーカー探索のための前向き観察研究
LC-SCRUM-Japan 附随研究:Immuno-Oncology Biomarker Study
(LC-SCRUM-IBIS)
(伊元孝光、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 2 アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究 (LC-SCRUM-Asia)
(伊元孝光、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

【呼吸器感染症関係】

- 3 QFT キット搬入条件と陽性率の関係についての検討
(丸毛 聡、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、福井基成)
- 4 気管支肺胞洗浄液を用いた、LAMP 法によるアスペルギルス感染症の診断能力について

ての検討

(井上大生、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、丸毛 聡、福井基成)

- 5 気管支肺胞洗浄液を用いた、LAMP 法によるニューモシスチス肺炎の診断能力についての検討

(井上大生、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、丸毛 聡、福井基成)

- 6 非結核性抗酸菌症の重症化予防を目的とした栄養介入実施と新たな栄養指示療法の提案

(高山祐美、北島尚昌、永井成美、福井基成)

- 7 成人市中発症肺炎 (COP) における肺炎球菌性肺炎の疫学研究

(井上大生、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

- 8 スルファメトキサゾール・トリメトプリムの予防投与中止から、ニューモシスチス肺炎発症までの期間についての後方視的検討

(井上大生、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

- 9 医療・介護関連肺炎における炎症性バイオマーカーと予後との関係についての検討

(井上大生、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

- 1 0 COVID-19 後遺症に関する実態調査 (中等症以上対象)

(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

- 1 1 コロナウイルス肺炎 (CoVp) とインフルエンザウイルス肺炎 (InVP)、非ウイルス性市中肺炎 (nVCAP) の臨床像に関する多施設共同研究

(井上大生、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、白石祐介、伊元孝光、濱川瑤子、北島尚昌、丸毛 聡、福井基成)

- 1 2 COVID-19 に関するレジストリ研究 (COVID-19 Registry)

(丸毛 聡、尾上雅英)

- 1 3 新型コロナウイルスに対するアビガン錠による治療

(丸毛 聡、尾上雅英)

- 1 4 新型コロナウイルスに対するアクテムラ点滴静注による治療

(丸毛 聡、尾上雅英)

- 1 5 新型コロナウイルスに対する注射用ナファモスタットによる治療

(丸毛 聡、尾上雅英)

- 1 6 腎不全合併 COVID-19 患者の臨床像についての検討 (中等症以上)

(濱川瑤子、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

【喘息・COPD関係】

- 1 7 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に対する鍼治療を用いた長期予後の検討 (L-CAT)

(鈴木雅雄、福井基成、宇山倫弘、林 優介、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡)

- 1 8 閉塞性肺疾患の病態に関連した臨床指標に関する研究

(丸毛 聡、松本久子、室 繁郎、北島尚昌、井上大生、福井基成)

- 1 9 COPD 患者における COPD アセスメントテストのスコアと臨床症状との検討
(丸毛 聡、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、福井基成)
 - 2 0 調剤薬剤師主導による吸入指導体制が喘息・COPD 患者および地域医療に及ぼす影響
(丸毛 聡、勝 啓子、三井克巳、井戸雅子、小山美鈴、福井基成)
 - 2 1 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における気道好酸球炎症と気道壁肥厚の関連の検討
(前谷知毅、丸毛 聡、為定裕貴、菊池悠二郎、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、福井基成)
 - 2 2 気管支喘息患者における下気道粘液栓と好酸球性副鼻腔炎の関連の検討
(林 優介、丸毛 聡、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、福井基成)
 - 2 3 好酸球高値かつ IgE 高値の重症喘息症例での生物学的製剤の効果の検討
(丸毛 聡、前谷知毅、為定裕貴、菊池悠二郎、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、福井基成)
 - 2 4 好酸球性肺炎合併喘息における全身ステロイド投与状況の検討
(丸毛 聡、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、福井基成)
 - 2 5 本邦リアルワールドでの重症喘息における生物学的製剤の使用実態および効果に寄与する因子の検討 多施設共同研究
(丸毛 聡、林 優介、北島尚昌、福井基成)
 - 2 6 閉塞性気道疾患における胸部 CT 解析の日常臨床応用への可能性に関する多施設共同研究 多施設共同研究
(丸毛 聡、福井基成)
 - 2 7 COPD 患者における NPPV 導入の気腫性変化への影響に関する検討
(前谷知毅、為定裕貴、丸毛 聡、菊池悠次郎、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、福井基成)
 - 2 8 慢性呼吸器疾患患者の呼吸運動を cineMRI を用いて定量的に評価する研究
(林 優介、白石祐介、白石依里香、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、丸毛 聡、奥村亮介、福井基成)
 - 2 9 COPD 患者における横隔膜の動きと生理学的指標との関係に関する検討
(濱川瑶子、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 【びまん性肺疾患関係】
- 3 0 特発性肺線維症における白血球テロメア長と血中バイオマーカーおよび臨床指標の関連についての検討 多施設共同研究
(宇山倫弘、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
 - 3 1 間質性肺疾患患者の血液および BAL におけるサイトカインなどの検討
(宇山倫弘、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑶子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
 - 3 2 ナノポアシーケンスを用いた過敏性肺炎患者の環境調査における真菌の同定
(伊元孝光、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、宇山倫弘、

- 北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 3 びまん性肺疾患の疫学およびバイオマーカーに関する研究
(宇山倫弘、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 4 多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究
(宇山倫弘、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、林 優介、伊元孝光、北島尚昌、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 【呼吸不全関係】
- 3 5 慢性呼吸不全患者に対する包括的呼吸ケアプログラムが身体活動性および健康関連 QOL に及ぼす影響についての検討
(北島尚昌、本田憲胤、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 6 高二酸化炭素血症および長期非侵襲的人工呼吸療法が肺非結核性抗酸菌症の予後に及ぼす影響についての検討
(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 7 慢性閉塞性肺疾患の増悪予測因子としての episodic Nocturnal Hypercapnia についての研究
(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 8 非結核性抗酸菌症における呼吸機能・呼吸筋力と四肢筋肉量との関係についての検討
(北島尚昌、高山祐美、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 3 9 高齢者に対する長期非侵襲的人工呼吸療法についての検討
(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 4 0 在宅酸素療法患者に対する訪問看護の視点からの問題点と解決策の検討
(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 4 1 慢性閉塞性肺疾患に対する呼気圧負荷トレーニングの有効性とその適応 -多施設無作為化コントロール比較試験-
(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)
- 4 2 睡眠呼吸障害診断における体動データの有効性に関する共同研究
(北島尚昌、為定裕貴、菊池悠二郎、前谷知毅、山田 翔、宇山倫弘、林 優介、伊元孝光、濱川瑤子、井上大生、丸毛 聡、福井基成)

小児科循環器／心臓 C 先天性心疾患系

- 1 インスタントメッセンジャーおよびクラウドを用いた心エコー遠隔診療支援システムの構築
(渡辺 健)

心臓センター 循環器内科、不整脈科系

- 1 心臓除細動器植え込み症例における遠隔モニタリングシステムの運用の意義
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 2 心臓同期療法治療選択における擬似両室ペーシングと即時左室内圧測定の有用性
(春名徹也、張田健志、臨床工学部)
- 3 難治性心房頻拍及び心房細動を対象としたマーシャル静脈に対するケミカルアブレーションを用いた探索的介入研究
(春名徹也、張田健志)
- 4 心臓MRIによる co-existing AF and heart failure の病態評価と積極的洞調律化の妥当性の判定
(春名徹也、張田健志)
- 5 持続性心房細動例における積極的洞調律化の妥当性を心房細動適応現象から判定する。
(春名徹也、張田健志)
- 6 高齢者頻脈徐脈症候群における比較的高位心房中隔ペーシングによる心房細動抑制効果
(春名徹也、張田健志)
- 7 心不全患者の運動療法における予後調査
(中根英策、福田弘毅、猪子森明)
- 8 血中・心嚢液中マイクロ RNA の生理学的意義の検討
(宮本昌一、猪子森明)
- 9 大動脈弁狭窄症患者に対する治療法選択とその予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CURRENT-AS Study-2)
(猪子森明、加藤貴雄、春名徹也、春名克純、山地雄平、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、張田健志、濱口桃香、平間大介、白神 拓、羽生道弥)
- 1 0 慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討
(RESPECT-EPA)
(宮本昌一、猪子森明)
- 1 1 心電図異常の臨床的意義について～心エコー所見との比較～
(加藤貴雄、猪子森明)
- 1 2 急性大動脈解離や胸部大動脈瘤破裂および未破裂胸部大動脈瘤における心嚢液中 Granulocyte-Conlony Sitmulating Facter 濃度や同組織染色における発現レベルの比較検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
- 1 3 多施設共同研究 STOPDAPT-2 (ShorT and OPTimal duration of Dual Anti Platelet Therapy-2 study) : エベロリムス溶出性コバルトクロムステント (XIENCE) 留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究
(山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、春名徹也、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、猪子森明)
- 1 4 多施設共同研究 CREDO-Kyoto 3 (Coronary REvascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto) 追跡調査 : 日本における経皮的冠動脈インターベンション (PCI) および冠動脈バイパス手術 (CABG) のレジストリー・多施設による冠動脈疾患血行再建術後の長期成績・予後調査コホート 3
(猪子森明、山地雄平、張田健志、春名克純、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、

- 伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)
- 1 5 心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の出血と血栓リスクに関する前向き観察多施設共同研究 (STAR-ACS)
(猪子森明、中根英策、山地雄平、春名克純、福田弘毅、矢野真理子、濱口桃香、伊藤慎八、張田健志、春名徹也)
 - 1 6 トログリフロジンの安全性および有効性の検討 前向き観察研究 (Assessment of safety and effectiveness: the clinical Use of tofogliflozin in patients with type2 diabetes Mellitus -AYUMI-)
(猪子森明、春名徹也、中根英策)
 - 1 7 静脈血栓塞栓症における非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬治療の前向き追跡多施設共同研究 (KUROGIO study)
(猪子森明、春名徹也、中根英策、張田健志、山地雄平、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名克純)
 - 1 8 開心術患者の心嚢液中サイトカインや細胞外マトリックス蛋白測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
 - 1 9 開心術患者の心嚢液中 G-CSF 測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
 - 2 0 開心術患者の心嚢液中 Troponin T 測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
 - 2 1 開心術患者の心嚢液中 NT-proBNP と TroponinT 測定における左室機能や生命予後に
関する臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
 - 2 2 開心術患者の心嚢液中ケモカイン測定における臨床的意義の検討
(宮本昌一、羽生道弥、猪子森明)
 - 2 3 急性大動脈解離の治療の際の抗血栓療法継続の是非についての研究
(濱口桃香、羽生道弥、猪子森明)
 - 2 4 心不全 Frailty の予後予測妥当性と心臓リハビリテーション効果に関する研究
(上坂健太、中根英策、猪子森明)
 - 2 5 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板
剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究
(STOPDAPT-2 ACS)
(山地雄平、福田弘毅、濱口桃香、矢野真理子、伊藤慎八、中根英策、春名克純、猪子森明)
 - 2 6 心不全医療の適正化に資するための全国規模データベースによるエビデンスの創出
PREDICTing long-term clinical outcomes by Optical coherence tomography
assessments of plaque characteristics of irregularities coronary artery
[PREDICTOR Study] (非血行再建冠動脈における光干渉断層撮影法評価による長期
臨床成績の予測)
(山地雄平、猪子森明)
 - 2 7 心房細動合併患者における冠動脈インターベンション施行後の抗血栓療法の実態調査
(REVEAL AF-PCI Registry)
(春名克純、猪子森明)

- 28 レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
(濱口桃香、猪子森明)
- 29 繰返し入院する慢性心不全患者を対象とした ASV 治療の予後に関する前向き観察研究 –SAVIOR-L–
(中根英策、猪子森明)
- 30 入院期心不全患者に対する集団疾病管理指導による心不全再入院予防効果の検討
(上坂健太、中根英策、猪子森明)
- 31 EMPEROR-Preserved (EMPagliflozin outcome tRial in patients with chrOnic heaRt failure : 左室駆出率の保たれた慢性心不全の患者を対象にしたエンパグリフロジンのアウトカム試験)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)
- 32 至適な血管内超音波ガイド経皮的冠動脈インターベンションの複雑性病変における臨床経過を評価する前向き観察研究 (OPTIVUS-Complex PCI)
(山地雄平、猪子森明)
- 33 非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法：オープンラベル、多施設、前向き、無作為比較試験 (OPTIMA-AF trial)
(山地雄平、猪子森明)
- 34 大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた末梢血管内治療に関する多施設前向き研究 (POPCORN)
(山地雄平、猪子森明)
- 35 本邦の非心臓手術における周術期心筋梗塞の頻度と傾向の検討
(濱口桃香、猪子森明)
- 36 レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)
- 37 癌合併の下腿限局型深部静脈血栓症に対する最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究 (ONCO DVT Study)
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)
- 38 本邦の経皮的冠動脈インターベンション治療における心房細動の傾向と影響の検討
(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)
- 39 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究 (STOPDAPT-2 ACS)
(山地雄平、猪子森明)
- 40 心アミロイドーシス患者の臨床的特徴と予後を検討する多施設前向きコホート研究 (CAPTURE-AMYLOID)
(森田雄介、中根英策、山地雄平、春名克純、張田健志、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也、猪子森明)
- 41 大阪心不全地域連携の会 (Osaka Stops HEart Failure, OSHEF) の心不全地域連携

パスの導入例における心不全再入院回避率および回避例・非回避例

(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)

4 2 肥大型心筋症の診療実態に関する多施設前向き登録研究 (PREVAIL HCM)

(春名克純、猪子森明)

4 3 心不全患者の再入院防止を目的とした新たな心不全管理システム前後における医療経済効果

(中根英策、猪子森明)

4 4 心不全患者の症状緩和におけるモルヒネ投与の有効性と安全性に関する多施設共同前向き観察研究

(Morphine-HF study)

(矢野真理子、猪子森明)

4 5 うっ血性心不全 (心性浮腫) 患者における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究 (GOREISAN-HF Trial)

(中根英策、猪子森明)

4 6 エベロリムス溶出性コバルトクロムステント (XIENCE™) 留置後の抗血小板療法を P2Y12 阻害薬単剤とすることの安全性を評価する研究 (STOPDAPT-3)

(山地雄平、猪子森明)

4 7 2 型糖尿病左室拡張不全患者の左室拡張機能に及ぼすトログリフロジンの効果の検討 (TOP-HFPEF)

(福田弘毅、猪子森明)

※ 4 8 在宅心不全患者の再入院を回避する革新的 ICT 遠隔モニタリング環境の有用性の検証

(ITMETHOD-HF2)

(猪子森明、山地雄平、春名克純、張田健志、中根英策、福田弘毅、矢野真理子、伊藤慎八、濱口桃香、春名徹也)

心臓センター 心臓血管外科系

1 冠動脈バイパス術におけるグラフト評価としての Transit flow meter の有用性

(平間大介、羽生道弥)

2 内視鏡を用いた大伏在静脈グラフト採取の利点と欠点

(平間大介、羽生道弥)

3 Cryo ablation による肺静脈隔離の遠隔期成績

(平間大介、羽生道弥)

4 感染性心内膜炎の至適手術時期の検討

(平間大介、羽生道弥)

5 総大腿動脈病変に対する内膜摘除術の遠隔予後

(平間大介、羽生道弥)

6 心臓手術術前 MRI による頭部評価は術後脳合併症の発症抑制に繋がる

(平間大介、羽生道弥)

臨床工学系

○ 1 乾燥保存臓器の再細胞化と移植に関する研究：小口径人工血管の開発

(学術研究助成基金助成金 2020 年度 若手研究)

(石野直明)

第 3 研究部 (代謝、消化栄養、体液平衡障害研究部)

部長 濱崎 暁洋 (糖尿病内分泌内科)

研究主幹 塚本 達雄 (腎臓内科)

本庶 祥子 (栄養部)

糖尿病内分泌内科系

- 1 内分泌代謝疾患の新規バイオマーカーの探索
(岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、瀬野陽平、長谷部雅士、吉治智志、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 遺伝性内分泌代謝疾患診断のための遺伝子解析研究
(岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、瀬野陽平、長谷部雅士、吉治智志、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 3 代謝内分泌疾患の病態生理解明と治療効果検討のための観察研究
(岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、瀬野陽平、長谷部雅士、吉治智志、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 4 GH 産生下垂体腺腫における術後再発および薬物療法有効性予測因子の検討
(京都大学と共同研究)
(岩崎順博、岩崎可南子、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 5 インスリン自己注射手技の適切な再教育による血糖コントロール改善の探索的調査
(日本ベクトンディッキンソン社と共同研究)
(越井由佳子、竹内麻衣、本庶祥子、境内大和、瀬野陽平、岩崎可南子、岩崎順博、濱崎暁洋)
- 6 ステロイド使用時の耐糖能悪化時のインクレチン関連薬治療に関する研究
(吉治智志)
- 7 原発性アルドステロン症の診断および治療経過における心血管・臓器障害の進行とリンパ球・サイトカインプロファイルの関連探索研究
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 8 糖尿病と癌の発症についての後方視的研究
(本庶祥子)
- 9 糖尿病患者における膵癌発生の前向き観察研究 (消化器内科との共同研究)
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 10 高齢者糖尿病患者におけるサルコペニアの評価と介入に関する研究
(本庶祥子、角田晃啓)
- 11 高齢者の生活自立に資する身体機能維持に必要な栄養素代謝環境の病態生理学的解明
(濱崎暁洋、角田晃啓、本庶祥子)
- 12 ソマトスタチンアナログ製剤投与時の膵・腸管内分泌修飾と耐糖能異常の研究
(阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 13 下垂体腫瘍の臨床的特性と発現因子の免疫組織学的解析
(阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)

- 1 4 内分泌腫瘍による膵・腸管内分泌修飾の解析
(阿部 恵、岩崎可南子、濱崎暁洋)
- 1 5 糖尿病状態における味覚・消化管ホルモン分泌についての検討
(岩崎可南子)
- 1 6 マイクロRNAの網羅的解析による2型糖尿病の個別化食事療法の推進
(科学研究費助成事業 2019年度 若手研究)
(岩崎可南子、岩崎順博)
- 1 7 抗GAD抗体陽性患者の臨床的特徴に関する検討
(河崎祐貴子、本庶祥子、阿部 恵、濱崎暁洋)
- 1 8 甲状腺機能の代謝修飾に関する検討
(河崎祐貴子、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 1 9 血漿マイクロRNAプロファイルを用いた糖尿病患者における癌早期スクリーニング法の確立
(岩崎順博)
(武田科学振興財団医学系研究助成 岩崎順博)
- 2 0 免疫系における高血糖毒性の分子基盤解明とその糖尿病診療への応用
(科学研究費助成事業 2019年度 若手研究)
(岩崎順博)
- 2 1 妊娠時耐糖能異常症例に対する介入効果の研究
(博多恵美、増田有美、古河てまり、山内亜耶、中山法子)
- 2 2 全科型糖尿病診療サポートチームの多面的効果に関する検討
(竹内麻衣)
- 2 3 副腎腫瘍の病理学的特性に関する検討
(岡村絵美、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 4 耐糖能障害発現機序におけるAsprosinの意義の検討
(徳本信介、濱崎暁洋)
- 2 5 膵島機能・量を修飾する因子の多面的解析
(岡村絵美、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 6 SGLT2阻害薬の血糖値改善効果と内分泌修飾に関する検討
(和田良春)
- 2 7 インスリン分泌と感受性、インクレチン作用の定量的評価
(濱崎暁洋)
- 2 8 日常診療環境において持続的運用が可能なデータベースとその統合についての検討
(濱崎暁洋)
- 2 9 糖尿病患者の水痘ウイルス免疫に関する研究(感染症科と共同研究)
(本庶幸子、濱崎暁洋)
- 3 0 医療データを用いた内分泌代謝疾患の治療解析に関する研究(京都大学と共同研究)
(濱崎暁洋)
- 3 1 医療データからの診療行為の時系列的再構築に関する研究(京都大学と共同研究)
(濱崎暁洋)
- 3 2 グルカゴン分泌修飾におけるインクレチンの役割の解明
(濱崎暁洋)
- 3 3 腸内環境と内分泌・代謝修飾連関の解明に関する研究

(濱崎暁洋)

腎臓内科系

1 厚生労働省科学研究費補助金事業・AMED 関連事業

1-1 厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）「難治性血管炎に関する調査研究」

（研究協力者；遠藤知美）

- ・抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解維持療法の現状とその有効性と安全性に関する観察研究（Co-RemIT-JAV・RPGN）
- ・好中球細胞質抗体関連血管炎関連遺伝子に関する研究（RemIT-JAV、RemIT-JAV-RPGN、RemIRIT との連携）
- ・高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究
- ・大型血管炎（高安動脈炎と巨細胞性動脈炎）の診断・治療の現状と有効性に関する前向き観察研究
- ・AAV における腎組織病変とサイトカインプロファイルの相関研究（RemIT-JAV-RPGN 公募二次研究）
- ・血管炎病理診断コンサルテーション事業；武曾恵理
- ・抗好中球細胞質抗体関連血管炎を対象とした国際共同臨床試験の調整事務局機能構築に関する研究
- ・本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究（RemIRIT）
- ・JPVAS 血管炎前向きコホート研究（RADDAR-J [22]）

1-2 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』ネフローゼ症候群ワーキンググループ

（研究協力者；塚本達雄、遠藤知美）

- ・日本ネフローゼ症候群コホート研究（JNSCS）および延長研究（JNSCS-Ex）
- ・膜性増殖性糸球体腎炎/C3 腎症コホート研究
- ・成人期発症難治性ネフローゼ症候群患者に対するリツキシマブ治療に関しての治験
- ・指定難病臨床個人調査票のデータベース活用に関する研究

1-3 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ

（研究協力者；塚本達雄、武曾恵理）

- ・JKDR/JRBR を用いた RPGN の臨床病理学的解析
- ・2 研究班合同コホート：「ANCA 関連血管炎・RPGN の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究（RemIT-JAV-RPGN）」
- ・RPGN の疫学二次調査：全国 RPGN アンケート調査
- ・臨床調査票を用いた疫学調査

1-4 日本医療研究開発機構（AMED）研究（研究協力者；塚本達雄、遠藤知美）

- ・日本ネフローゼ症候群バイオマーカー研究（J-MARINE）

2 共同研究・受託研究

- ・わが国の腎臓病疾患における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究（J-RBR、J-CKD-DB）
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子、武曾恵理）

- ・成人ループス腎炎の予後に関する観察研究（J-RBR 公募二次研究）
（遠藤知美、武曾恵理、垣田浩子、塚本達雄、リウマチ膠原病内科：井村嘉孝）
 - ・ヨーロッパと本邦における IgA 腎症の臨床的特徴の比較調査研究
（塚本達雄、遠藤知美）
 - ・抗原特異的測定法による ANCA 検査の評価：小型血管炎における ANCA 検査の 2017 年国際合意の改訂を検証するための多施設共同前向き研究
（塚本達雄、遠藤知美）
 - ・遺伝子異常が疑われる腎疾患患者の遺伝子診断・解析、血液学的検査と臨床観察研究
（塚本達雄）
 - ・ミトコンドリア病関連腎疾患の全国調査
（塚本達雄）
 - ・腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定
（遠藤知美）
 - ・透析患者における $\alpha 1$ -microglobulin 除去率が生存・合併症予後に与える影響の検討
（塚本達雄）
 - ・PD 患者指導における日本の実態調査
（塚本達雄）
 - ・日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査
（塚本達雄、遠藤知美）
 - ・Low-Density Lipoprotein（LDL）アフェレシス療法の重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症に対する多施設臨床試験（LICENSE 研究）
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子、武曾恵理）
 - ・京都大学医学部附属病院腎臓内科関連病院腎疾患データベース構築に関する観察研究
（塚本達雄、武曾恵理）
 - ・日本アフェレシスレジストリ
（塚本達雄）
 - ・「HTLV-1 陽性臓器移植レジストリ」を活用した臓器移植における HTLV-1 感染のリスクの解明に関する研究【RADDAR-J[0-3]】
（塚本達雄）
 - ・経皮的腎生検における予防抗菌薬投与についてのランダム化比較試験
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子）
 - ・腎臓病・透析患者における COVID-19 対策の全国調査 および易感染性・重症化因子の後方視的解析
（塚本達雄）
 - ・電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子および予後に関する研究
（塚本達雄）
- 3 企業治験（責任医師、分担医師）
- ・ループス腎炎患者を対象として Voclosporin（23.7mg 1 日 2 回）の長期安全性及び有効性をプラセボと比較する、無作為化、比較対照二重盲検継続試験（Aurinia Pharmaceuticals Inc.（治験国内管理人）・シミック株式会社、ノイエス（株））
（塚本達雄、リウマチ膠原病内科：井村嘉孝）

- ・慢性腎臓病患者を対象としたバルドキシロンメチルの長期的な安全性を評価する継続試験（EAGLE 試験）（Reata Pharmaceuticals, Inc.（治験国内管理人：協和キリン株式会社）、（株）E P 総合）
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子）
- ・糖尿病性腎臓病患者を対象としたプラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験（協和発酵キリン株式会社、ノイエス（株））
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子）
- ・原発性 IgA 腎症患者を対象とした、LNP023 の有効性及び安全性を評価する、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、第 III 相臨床試験（ノバルティスファーマ株式会社、ノイエス（株））
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子）
- ・成人期発症のネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイド依存性）患者に対する IDEC-C2B8 の有効性及び安全性を確認する臨床第Ⅲ相試験
（医師主導治験、ノイエス（株））
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子）

4 臨床研究

- ・ANCA 関連血管炎患者の腎生検病理所見における、長期腎予後予測に有用なパラメーター検索と評価法の検討
（遠藤知美）
- ・透析患者の乳汁の尿毒素物質解析および母乳哺育の可能性についての研究
（遠藤知美、塚本達雄）
- ・透析用カテーテルの機能不全およびカテーテル関連感染症に関する研究
（塚本達雄）
- ・血液透析患者への定期的静注鉄補充によるヘモグロビン・サイクリングとエリスロポイエチン反応性に関する研究
（塚本達雄、遠藤知美、垣田浩子）
- ・横紋筋融解症の発症に関連するバイオマーカーの探索研究
（塚本達雄）
- ・腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定
（塚本達雄、遠藤知美）
- ・慢性腎臓病地域連携診療におけるアウトカム分析
（塚本達雄）
- ・「LDL-A による難治性ネフローゼ症候群寛解誘導の免疫学的機序の解明」
（垣田浩子、武曾恵理）
- ・IgA 腎症の EPA+Aspirin 療法の有効性
（遠藤知美、垣田浩子、塚本達雄）
- ・IgA 腎症におけるメサンギウム C4 沈着意義の検討
（鳥越和雄、武曾恵理、遠藤知美、垣田浩子、塚本達雄）
- ・SGLT2 阻害薬の腎機能の低下した DM 腎症に対する有効性と安全性
（塚本達雄）
- ・VINCENT で測定した多発性嚢胞腎体積の推移・トルバプタン効果・腎不全進行の検証
（塚本達雄）

- ・高齢発症 ANCA 関連血管炎患者の寛解導入における免疫抑制剤併用の有効性と安全性
(塚本達雄)
- ・末期腎不全期の多発性嚢胞腎に対するコイル塞栓療法と長期予後に関する研究
(塚本達雄)
- ・末梢動脈疾患に対する血管再生治療に関する研究
(塚本達雄)
- ・CKD 患者における HDL 機能と腎疾患との関連についての観察研究
(武曾恵理)

栄養部系

- 1 非結核性抗酸菌症の重症化予防を目的とした栄養介入実施と新たな栄養支持療法の提案
(高山祐美、永井成美、北島尚昌、福井基成)
- 2 胃癌周術期の栄養療法に関する検討
(黒川典子、巽 絢子、名倉成美)
- 3 SCU における経腸栄養プロトコル導入後の効果
(京面ももこ)
- 4 ICU-AW が自宅退院時の食事摂取に及ぼす影響
(京面ももこ)
- 5 腸管切除部位が腸内細菌叢および栄養代謝に及ぼす影響
(京面ももこ)
- 6 脾全摘術後患者における周術期および術後の栄養管理介入の有用性
(巽 絢子)
- 7 消化器系癌に対する栄養管理介入の有用性
(巽 絢子)
- 8 COVID-19 (中等症) 患者における栄養状態とアウトカムの関連
(山田信子、黒川典子)

第 4 研究部 (免疫、アレルギー、感染、病理研究部)

部長	井村 嘉孝	(リウマチ膠原病内科)
研究主幹	吉川 義顕	(皮膚科)
	弓場 吉哲	(病理診断科)
	本庄 原	(病理診断科)
	羽田 敦子	(小児科・感染症科)

リウマチ・膠原病内科系

- 1 生物学的製剤使用関節リウマチ患者の長期安全性研究 (SECURE 研究)
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 2 抗アミノアシル tRNA 合成酵素抗体測定のための OJ 抗原精製と測定系の確立
(井村嘉孝)
- 3 抗 MDA5 陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎に対する 3 剤併用療法プロトコルの有用性と

安全性の検討

--- 多施設共同研究

(井村嘉孝)

- 4 広域抗菌薬使用による腸内細菌叢への影響の検討
(辻本孝平)
- 5 全身性エリテマトーデスにおける SOCS1 の役割の解明と治療への応用
(学術研究助成基金助成金 2018 年度 基盤研究 C)
(高橋令子)
- 6 ラパマイシンによる全身性エリテマトーデスの病態制御のメカニズムの解明
(高橋令子)
- 7 病気再燃防止を目的とした全身性エリテマトーデス患者の臨床像に関する観察研究
(高橋令子)
- 8 関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究
(PROFILE-J)
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 9 メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 10 メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患発症予測因子の同定
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- 11 リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究
--- 多施設共同研究
(井村嘉孝)
- △ 12 SOCS1 の JAK-STAT 経路制御による全身性エリテマトーデスの病態の制御
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(高橋令子)

皮膚科系

- 1 乾癬における生物学的製剤を基盤とした集学的治療の有用性評価に関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈、石橋茉実)
- 2 円形脱毛症における標準的治療の最適な介入時期とアウトカムに関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈、石橋茉実)
- 3 蕁麻疹の標準的治療と臨床的効果に関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈、石橋茉実)
- 4 アトピー性皮膚炎における標準的治療の有効性の臨床的評価方法に関する研究
(吉川義顕、古賀玲子、山上優奈、石橋茉実)

病理診断科系

- 1 膝液細胞診の精度向上のための検討
(仲村佳世子、萩原葉子、弓場吉哲)
- 2 悪性中皮腫診断のための酵素抗体法パネルの検討

- (弓場吉哲)
- 3 EUS-FNA における細胞診と組織診との整合性について
(弓場吉哲)
 - 4 婦人科細胞診における LBC と従来法の比較検討
(西岡千恵子、仲村佳世子、弓場吉哲)

感染症科系

- 1 ワクチンによる糖尿病患者における水痘帯状疱疹ウイルス特異的免疫反応の検討
(文部科学省科学研究費補助金事業)
(羽田敦子、糖尿病内分泌内科 濱崎暁洋、本庶祥子、河崎祐貴子、瀬野陽平、
渡邊 武、小林由佳、榊原敦子、浜本芳之、兵庫医科大学 奥野壽臣、
姫路獨協大学 片山俊郎)
- 2 当院の ESBL 臨床分離株の検討～当院における 2004 年と 2017 年の ESBL 産生大腸菌の
比較
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、羽田敦子)
- 3 水痘抗原皮内テストと IFN- γ アッセイの水痘帯状疱疹ウイルス特異的免疫反応の
相関分析
(羽田敦子、榊原敦子、渡邊 武、小林由佳、兵庫医科大学 奥野壽臣、
姫路獨協大学 片山俊郎)
- 4 メロペネム、タゾバクタム/ピペラシリン、セフトリアキソンの排便回数に
対する影響
(辻本考平、片山俊郎、羽田敦子)
- 5 広域抗菌薬使用による腸内細菌叢への影響の検討
(辻本考平、大橋倫子、羽田敦子)
- 6 メソトレキセート内服を契機に発症したリステリア髄膜炎による脳神経障害の検討
(内原嘉仁、山本昌義、藤田昌昭、羽田敦子)
- 7 3 つの年齢層の感染源に基づく日本の SARS-CoV-2 感染管理の実施
(羽田敦子)
- 8 妊婦 GBS スクリーニング法としての選択増菌培地の有効性
(中塚由香利、宇野将一、羽田敦子)
- 9 Enterobacter spp. 菌血症に対する第 3 世代セファロスポリン療法の臨床的評価
(小林和博、上田 覚、高橋 有、羽田敦子、尾上雅英)
- 10 ESBL 産生大腸菌の尿路感染に対する CMZ の投与回数による有効性の比較検討
(上田 覚、高橋 有、小林和博、羽田敦子、尾上雅英)

検査部系

- 1 急性腎障害マーカーとしての尿中 NGAL 測定の有用性について
(土肥慎哉、伊東知沙紀、松井美甫香、横森未来、大滝敦美、垣内真子、前田記代子)
- 2 血清中アルブミン測定法の変更に伴う測定値の乖離要因について
(横森未来、見戸杏優、新枝稜介、伊東知沙紀、土肥慎哉、松井美甫香、垣内真子、
前田記代子)
- 3 免疫血清部門における各種市販コントロール血清の効率的運用について
(伊東知沙紀、見戸杏優、土肥慎哉、横森未来、垣内真子、前田記代子)

- 4 シーメンス社製 全自動免疫生化学統合測定装置 Dimension EXL200 を用いた生化学特殊項目測定の有用性
(垣内真子、新枝稜介、土肥慎哉、松井美甫香、大滝敦美、前田記代子)
- 5 検査終了後廃棄血清を用いた日内精度管理用プール血清の運用について
(松井美甫香、伊東知沙紀、土肥慎哉、井ノ上紗季、大滝敦美、垣内真子、前田記代子)
- 6 全自動化学発光免疫測定装置「アボット社 Alinity i システム」の基礎検討
(松井美甫香、見戸杏優、伊東知沙紀、土肥慎哉、横森未来、垣内真子、前田記代子)
- 7 全自動化学発光免疫測定装置「アボット社 Alinity 連結システム」導入の有用性
(垣内真子、見戸杏優、伊東知沙紀、土肥慎哉、松井美甫香、横森未来、前田記代子)
- 8 検査前・後処理の自動化を強化した検体搬送システムの構築
(前田記代子、垣内真子、田畑宏道)
- 9 検体検査搬送システムでのTAT短縮の工夫および結果照会画面への報告時間表示機能、院内導入の効果と検証
(土肥慎哉、見戸杏優、伊東知沙紀、松井美甫香、横森未来、垣内真子、前田記代子)
- 10 大規模災害時の検体検査室の役割に関する検討
(前田記代子、志賀千代美、小林賢治、上西徳治、田中順子、垣内真子)
- 11 院外検査センターと当院検査システムとの効率的な接続（院外検査データ情報取り込みの新たな仕組み）導入後の検証
(前田記代子、田畑宏道)
- 12 検査センター実施項目のリアルタイムTAT表示とその有用性の検証、および問題点
(前田記代子、土肥慎哉、垣内真子、田畑宏道)
- 13 検体検査業務のリモート化の可能性について
(田畑宏道、垣内真子、前田記代子)
- 14 コロナ禍におけるNST（栄養サポートチーム）への臨床検査技師の関わり方
(垣内真子、山崎みどり)
- 15 当院における術式別平均出血量の算出およびSBOEにもとづいた手術血準備の構築（T&Sのあり方もふくめて）
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)
- 16 オート輸血自動分析器・VISIONによる移植時抗体価測定の検討
(大滝紘平、志賀千代美、高橋明日香、宮内万知子)
- 17 輸血管理アプリケーションBTDXを用いたオーダーリングシステムとの輸血連携について
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)
- 18 幹細胞移植における輸血連携業務について（採取・保管管理、マーカー検査もふくめて）
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)
- 19 アルブミン製剤の製剤管理と適正輸血について
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)
- 20 輸血後鉄過剰症のマネジメントについて
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)
- 21 当院における自己血輸血の現状と評価
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)

- 2 2 産婦人科危機的出血シミュレーションによる輸血体制の構築
(大滝紘平、高橋明日香、宮内万知子、志賀千代美)
- 2 3 Sysmex 社 XN-10 BF モードによる体液測定の実用化について
(大滝紘平、高橋明日香、浅田 薫、宮内万知子、志賀千代美、前田記代子)
- 2 4 CELLAVISION 社 DM9600 の運用の評価
(大滝紘平、高橋明日香、浅田 薫、宮内万知子、志賀千代美、前田記代子)
- 2 5 BECKMANCOLTER 社 Navios EX におけるフローサイトメトリーの
基礎的検討
(大滝紘平、高橋明日香、志賀千代美、前田記代子)
- 2 6 次期検体検査室の構築
(前田記代子、垣内真子、田畑宏道)
- 2 7 次期検体検査測定装置の検討
(前田記代子、土肥慎哉、松井美甫香、垣内真子、田畑宏道)
- 2 8 運動負荷 PWV・ABI、皮膚灌流圧、下肢動脈エコーとの相関について
(伴 洋子、宮原佳子、井上美砂、河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、
生熊誠子、嶋田昌子、大西めぐみ、渡邊裕子、小田嶋康雄、
中野尋文、秋田育美、森本 幸、吉田美由紀、辻美佳、船橋 妹、
平井絵理香、池田知春、奥田真依、横山明希野、河北友紀、南 奈月)
- 2 9 心電図による左室肥大診断の臨床的意義についての検討 (心エコーデータとの
比較検討)
(伴 洋子、宮原佳子、井上美砂、河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、
生熊誠子、嶋田昌子、大西めぐみ、小田嶋康雄、渡邊裕子、中野尋文、秋田育美、
森本 幸、吉田美由紀、辻 美佳、船橋 妹、平井絵里香、池田知春、奥田真依、
横山明希野、河北友紀、南 奈月)
- 3 0 A S の進行する要因について心エコーでの検討
(上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、大西めぐみ、森本 幸、小田嶋康雄、
平井絵理香、秋田郁美)
- 3 1 腹部エコーでの胆嚢壁肥厚と形態・血流評価の検討
(河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、森本 幸、大西めぐみ、
秋田育美、池田知春)
- 3 2 側頭動脈炎と血管エコー所見についての検討
(河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、森本 幸、大西めぐみ、秋田育美、
船橋 妹、池田千春)
- 3 3 EVAR 後の Endoleak 評価 -エコーと CT での相関-
(上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、河関恵理子、大西めぐみ、森本 幸、池田千春)
- 3 4 シェントエコーの有用性についての検討
- シェント作成前の動脈評価や PTA 前評価など -
(上妻玉恵、生熊誠子、土井千賀子、河関恵理子、大西めぐみ)
- 3 5 2 型糖尿病患者に対する膵癌発生についての前向き経過観察 (糖尿病内科・消化器内
科共同研究)
(河関恵理子、上妻玉恵、土井千賀子、生熊誠子、森本 幸、大西めぐみ、
秋田育美、池田知春)
- 3 6 脳波検査において、側頭葉てんかん症例における T1,T2 記録の有用性の検討

- (嶋田昌子、渡邊裕子、井上美砂、中野尋文、宮原佳子、飯田奈緒)
- 3 7 神経伝導検査において、F 波出現率低下症例における正中神経刺激時の安静時と運動時での出現率の比較検討
(嶋田昌子、渡邊裕子、中野尋文、井上美砂、飯田奈緒)
- 3 8 PSG 検査において、REM 低換気症例検討
(嶋田昌子、渡邊裕子、宮原佳子、井上美砂、飯田奈緒)

第 5 研究部 (精神、神経、感覚、運動器障害研究部)

部長	松本 禎之	(神経 C 脳神経内科)
研究主幹	田辺 晶代	(眼科)
	宮原 晋介	(眼科)
	高木 賢一	(神経精神科)
	麻田 義之	(整形外科)
	田村 治郎	(整形外科)
	太田 雅人	(整形外科)
	前谷 俊樹	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
	金丸 眞一	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
	鈴木 義久	(形成外科)
	戸田 弘紀	(神経 C 脳神経外科)

脳神経内科系

- 1 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法が認知機能、精神状態へ与える影響 (視床下核に対する脳深部刺激療法における導線と刺激電極の位置及び刺激の強度と、術後の認知機能の変化との関係を調べる研究
(岡 佑和)
- 2 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法適応基準に関する検討
(岡 佑和)
- 3 パーキンソン症状を呈する入院患者の臨床像に関する検討
(古川公嗣、高橋牧郎、中川朋一、小松研一、岡 佑和、新美 完、今中翔平、上田明広、櫻井靖久)
- 4 パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究
(小松研一、高橋牧郎、里井 斉、中川朋一)
- 5 脳神経内科診療における 24 時間血圧計 (ABPM) の有用性の検討
(上田明広、小松研一、高橋牧郎、古川公嗣、中川朋一、岡 佑和、新美 完、今中翔平、櫻井靖久)
- 6 神経内科診療における精神科連携の意義の検討
(小松研一)
- 7 新規抗てんかん薬のてんかん重積への有用性の検討
(中川朋一)

眼科系

- 1 高度近視緑内障における近視性網膜神経線維層障害の長期経過
(田辺晶代)
- 2 高齢緑内障患者における外科的緑内障治療の検討
(田辺晶代)
- 3 線維柱帯切開術眼内法の長期成績
(田辺晶代)
- 4 サイロメガロウイルス起因性続発緑内障に対する緑内障術後長期成績
(田辺晶代)
- 5 難治性黄斑円孔に対する **invertedILM flap** 法の有用性
(宮原晋介)
- 6 チン氏帯脆弱眼に対する眼内レンズ嚢内逢着術の術後成績
(宮原晋介)

神経精神科系

- 1 総合病院精神科に受診するうつ病患者に対する精神療法
(高木賢一、岩崎明日香)
- 2 摂食障害患者の家族療法についての研究
(岩崎明日香、高木賢一)
- 3 緩和ケアにおける精神療法についての研究
(高木賢一、岩崎明日香)
- 4 精神科リエゾンコンサルテーションにおける統計学的研究
(高木賢一、岩崎明日香)
- 5 総合病院入院中の認知症患者および高齢者に対する精神科薬物療法および非薬物療法
(高木賢一、岩崎明日香)
- 6 パーキンソン病関連疾患の精神症状に対する精神科薬物療法
(高木賢一、岩崎明日香)

整形外科系

- 1 **Surgical navigation system** を応用した頸椎手術の臨床評価
(太田雅人)
- 2 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対する椎体再建術の臨床研究
(太田雅人)
- 3 クロスリンクポリエチレンと **26** ミリ径コバルトクロム人工股関節骨頭との組み合わせによるソケット磨耗の経時的臨床的測定評価、ソケットレントゲン所見の経時変化。
(田村治郎)
- 4 高強度チタン合金ダブルテーパーシステム (**HS-3 Taper**) を用いた人工股関節の開発、中長期臨床成績の分析 (大腿骨皮質へのストレス分散に関する検討)
(田村治郎)
- 5 ハイドロキシアパタイト顆粒 (ボーンセラム) を用いた生体活性骨セメント手技による人工股関節ソケット固定の中期レントゲン所見、および臨床成績の分析
(田村治郎)

- 6 超長期耐用を目指した新しい生体活性骨セメント手技の開発研究（生体界面におけるハイドロキシアパタイト骨顆粒の分散および適切な顆粒径の分析）
（田村治郎）
- 7 ハイドロキシアパタイト顆粒を用いた大腿骨頭壊死に対する小侵襲の骨頭温存手術の開発、臨床成績の分析
（田村治郎）
- 8 セメント固定による人工股関節再置換におけるロングステム、サポートプレートおよび人工骨、同種骨の併用使用症例の臨床成績の分析
（田村治郎）
- 9 新しい後十字靭帯切除型人工膝関節置換術（BS 5）の従来型（KU4）との比較検討
（田村治郎、佐治隆彦）
- 10 後十字靭帯切除型人工膝関節置換術（KU4, BS 5）の後方拘束性人工膝関節（Posterior stabilizer type）との臨床的比較検討
（田村治郎 佐治隆彦）
- 11 人工股関節手術、人工膝関節手術の術後骨折のリスクファクターおよび術後臨床成績の分析
（田村治郎）
- 12 絞扼性神経障害における手術前後の電気生理学的検討
（麻田義之、平雄一郎）

耳鼻咽喉科・頭頸部外科系

- 1 乳突蜂巣再生による難治性中耳炎に対する再生医療の開発
（金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、前谷俊樹、吉田季来）
- 2 組織工学的手法による外耳道軟部組織の再生医療
（金丸眞一、金井理絵、吉田季来、三輪 徹、山口智也、前谷俊樹）
- 3 鼓膜組織幹細胞の同定と鼓膜再生医療の開発
（金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、山口智也、前谷俊樹、吉田季来）
- 4 突発性難聴に対する i-TASS（intra-Tympanic administration of Steroid Sponge）療法の開発
（金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、山口智也、北真一郎）
- 5 人工神経管と単核球移植による末梢神経の機能的再生
（金丸眞一、金井理絵、山本季来、前谷俊樹）
- 6 グローバル、スタンダードを目指した bFGF による鼓膜再生療法の開発
（金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、山口智也、北真一郎）
- 7 高濃度ステロイド浸潤ゼラチンスポンジ正円窓留置による内耳性難聴への新治療の開発
（金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、山口智也、北真一郎）
- 8 鼓膜組織幹細胞の同定と動態の解明
（学術研究助成基金助成金 2016 年度 若手研究 B）
（金井理絵、金丸眞一）
- 9 末梢性顔面神経麻痺に対する高濃度ステロイド鼓室内投与療法の開発
（学術研究助成基金助成金 2017 年度 基盤研究 C）
（金丸眞一、金井理絵、三輪 徹）

- 1 0 ヒト遺伝性内耳疾患に対する遺伝子治療確立を見据えた基礎研究
(学術研究助成基金助成金 2020 年度 基盤研究 C)
(三輪 徹、金丸眞一、金井理絵、前谷俊樹)
- 1 1 ミトコンドリア機能異常による加齢性難聴の原因解明
(三輪 徹、金丸眞一、金井理絵、前谷俊樹)
- 1 2 めまいと自律神経系の関係性についての研究
(三輪 徹、金丸眞一、金井理絵、前谷俊樹)
- 1 3 認知症発症のリスクファクターである難聴への治療介入がもたらす発症遅延/予防効果の研究
(金丸眞一、金井理絵、三輪 徹、前谷俊樹)
- △ 1 4 高度難聴の高齢者に対する手術的治療介入が及ぼす認知症発症予防効果の検討
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 B)
(金丸眞一)
- △ 1 5 鼓室硬化症の発生機序の解明-鼓室硬化症は線維化症の一種か-
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(金井理絵)
- △ 1 6 飲酒・喫煙以外の原因による口腔癌の解明
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(原田博之)
- △ 1 7 再生医療による慢性中耳炎の革新的治療法の開発
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 挑戦的研究 開拓)
(金丸眞一)

形成外科系

- 1 中枢末梢神経軸索再生における瘢痕の抑制
(学術研究助成基金助成金 2018 年度 基盤研究 C)
(石川奈美子、鈴木義久)
- 2 人工リンパ節からのリンパ管新生についての検討 脂肪由来間質細胞付加の効果について (学術研究助成基金助成金 2018 年度 若手研究)
(武田孝輔)
- 3 ヒト幹細胞臨床研究骨髓由来単核球細胞を用いた脊髄損傷
(ASIA 機能障害尺度 A,B) に対する第 II 相試験
(鈴木義久)
- 4 アルギン酸を使用した再生医療技術のための新規 scaffold の開発
(鈴木義久、石川奈美子、平井達也)
- 5 磁場による神経血管再生
(石川奈美子)
- 6 四肢リンパ浮腫患者のリンパ管の再生
(石川奈美子)
- △ 7 磁場を用い瘢痕を制御する神経再生のメカニズムの解明
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(石川奈美子)

脳神経外科系

- 1 脳腫瘍全国統計調査と解析 (臓器がん登録調査)
(戸田弘紀 他 研究代表者: 成田善孝 (国立がん研究センター中央病院・脳脊髄腫瘍科))
- 2 グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発
(戸田弘紀 他 研究代表者: 金村米博 (大阪医療センター・臨床研究センター・室長))
- 3 小児頭蓋内悪性腫瘍の遺伝子診断体制の構築 I. 髄芽腫、上衣腫
(戸田弘紀 塩田光隆 武部軌良 研究代表者: 永根基雄 (日本脳腫瘍学会理事長) 伊達 勲 (日本小児神経外科学会理事長))
- 4 硬膜動静脈瘻に対する Onxy 液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術に関する多施設共同登録研究
(戸田弘紀、石橋良太)
- 5 未破裂脳動脈瘤の増大・破裂を促進する因子同定のための臨床研究
(戸田弘紀、石橋良太)
- 6 拡散テンソル画像によるパーキンソン病の前頭葉-線条体回路領域特異性の検討
(戸田弘紀)
- 7 拡散テンソル画像と微小電極記録による視床腹部の3次元機能解剖解析
(戸田弘紀)
- 8 無症候性頸動脈狭窄症の虚血発症リスク層別化に関する観察研究 (SmartK study)
(戸田弘紀、石橋良太)
- 9 成体神経幹細胞増殖制御における IGF-1・インテグリン $\alpha v \beta 3$ 協調作用の役割
(戸田弘紀)
- 10 Japan Neurosurgical Database (JND)
(戸田弘紀 他 研究代表者: 嘉山孝正・飯原弘二 (一般社団法人日本脳神経外科学会))
- 11 顔面痙攣症に対する微小血管減圧術後の味覚障害
(戸田弘紀 林英樹 藤川喜貴 他)
- △ 12 高度難治性振戦に対する定位機能神経外科の治療最適化と振戦制御機構の解明
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(戸田弘紀)

第 6 研究部 (発生、再生、発達障害研究部)

部長	秦 大資	(小児科)
研究主幹	佐藤 正人	(小児外科)
	諸富 嘉樹	(小児外科)
	塩田 光隆	(小児科)
	水本 洋	(小児科)

小児科系

- 1 免疫グロブリン療法不応の川崎病に対するステロイド療法の併用に関する検討
(吉岡孝和、阿部純也、明石良子、熊倉 啓、水本 洋、塩田光隆、羽田敦子、渡辺 健、秦 大資)

- 2 乳児一過性高フェリチン血症に関する診断と治療の検討について
(塩田光隆)
- 3 Aicardi-Goutières 症候群の遺伝子解析
(阿部純也)
- 4 TREX1 遺伝子変異を中心としたインターフェロン関連疾患の病態解析
(阿部純也)
- 5 「水痘ワクチン追加接種後追跡調査」
(羽田敦子、呼吸器内科 丸毛 聡、秦 大資)
- 6 グロブリン製剤の濃度の違いによる川崎病治療効果の差異の検討
(吉岡孝和)
- 7 小児インフルエンザウイルス感染症を対象としたバロキサビル・マルボキシルのペラミビルとの併用療法の検討
(羽田敦子、秦 大資)
- 8 新生児一過性高インスリン血症における血中 reverse T3 の検討
(阿水利沙、水本 洋)
- 9 乳児常染色体劣性多発性嚢胞腎の高血圧緊急症の対応
(荒井 篤、羽田敦子、渡辺 健、秦 大資)
- 10 小児難治性単一症候性夜尿症 (NME) におけるビベグロン治療効果の検討
(内原嘉仁、羽田敦子、山下純英、秦 大資)
- 11 川崎病患者におけるリンパ球サブセット解析
(阿久澤大智)
- 12 妊婦 GBS スクリーニング法改変による新生児侵襲性 GBS 感染症への影響
(沼田 寛、羽田敦子、吉岡孝和、加藤健太郎、水本 洋、秦 大資)
- 13 尿路感染症を発症した小児の水腎症・膀胱尿管逆流症の検討
(西尾尚紀、羽田敦子、吉岡孝和、水本 洋、秦 大資)
- 14 小児における血液培養の現状と展望
(岩田直也、羽田敦子、秦 大資)
- 15 遠隔通信システムを使用した新生児蘇生指導の有効性の検討
(阿水利沙、水本 洋)
- 16 胎児期発症のミルクアレルギーに関する検討
(高屋龍生、阿水利沙、水本 洋)
- 17 糖原病 1b 型に対する SGLT2 阻害剤の有効性、および最適な内服方法に関する検討
(三上真充、荒井 篤、水本 洋)
- 18 難治性乳び胸、全身浮腫を合併するヌーナン症候群に対する dexamethasone 大量療法の有効性に関する検討
(吉村元文、阿水利沙、水本 洋)
- 19 Dravet 症候群に対する PER の有効性の検討
(宇佐美亜由子、荒井 篤、吉田真衣、梶本智史、熊倉 啓)
- 20 抗 NMDAR 脳炎の臨床像の検討
(宇佐美亜由子、梶本智史、熊倉 啓)
- 21 NKX2-1 関連疾患の臨床像の検討
(梶本智史、熊倉 啓)
- 22 乳児虐待における頭部 MRI 画像の検討

- (前田貴美子、熊倉 啓)
- 2 3 周期性嘔吐症に対する lamotrigine の効果の検討
(坂部匡彦、熊倉 啓)
- 2 4 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 伝搬形態が小児と成人でなぜ違うのか。
(羽田敦子)

小児外科系

- 1 人工気胸下小児胸腔鏡手術における循環動態の研究
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 2 重症心身障がい児に対する腹腔鏡下噴門形成術の定型化の試み
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史)
- 3 小児内視鏡外科教育システムの構築
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 4 小児外科領域における単孔式腹腔鏡下手術の開発
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 5 ASH (abdomino scrotal hydrocele) の成因についての研究
(諸富嘉樹、東尾篤史、遠藤耕介)
- 6 小児消化管異物症例の疫学的検討
(遠藤耕介、佐藤正人)
- 7 先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術術式の開発
(佐藤正人、遠藤耕介、東尾篤史、諸富嘉樹)
- 8 膀胱尿管逆流症に対する低侵襲手術の開発
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史、佐藤正人)
- 9 ヒルシュスプルング病類似疾患における腸管神経細胞の分布についての検討
(佐藤正人、遠藤耕介、諸富嘉樹)
- 1 0 ヒルシュスプルング病診断におけるカルレチニンの応用
(佐藤正人、遠藤耕介)
- 1 1 先天性胆道閉鎖症の成因についての研究
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史)
- 1 2 先天性胆道閉鎖症初回手術時における線維化ならびに炎症性マーカーからの予後推定に関する研究
(東尾篤史、諸富嘉樹)
- 1 3 腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術 (LPEC) 術式の開発・普及
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史)
- 1 4 漏斗胸手術至適年齢の検討
(諸富嘉樹、遠藤耕介、東尾篤史)

第 7 研究部 (生体画像、医療機器学研究部)

部長	奥村 亮介	(放射線科)
研究主幹	高木 雄久	(放射線科)

放射線科系

- ※ 1 拡散 MRI を用いた革新的な腫瘍診断技術の構築
(飯間麻美、片岡正子、中本裕士 (京都大学画像診断科) 岡澤藍夏、奥村亮介
北野病院 放射線科)
- 2 骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌に対する塩化ラジウム内用療法の臨床的有用性に関する検討 (継続)
(熱田智子、高木雄久)
- 3 進行食道癌患者に対する緩和的放射線科治療の QOL への影響のご検討 (継続)
(熱田智子、高木雄久)
- 4 III期非小細胞肺癌に対する同時胸部化学放射線療法および逐次的デュルバルマブ維持療法における至適照射範囲の検討
(熱田智子、高木雄久)
- 5 SAVI (Strut Adjusted Volume Implant) を用いた乳房温存術後小線源治療の治療効果に関する検討
(熱田智子、高木雄久)

脳神経外科系

- 1 深部脳電極埋込時における頭位の影響に関する検討
(西田南海子、戸田弘紀、岡 佑和 他)
- 2 特発性正常圧水頭症における症状改善のための臨床研究-アルツハイマー病理が疑われる患者に対するシャントの有効性・安全性に関して-
(西田南海子、小松研一 研究代表者: 森 悦朗・宮嶋雅一・数井裕光 (日本正常圧水頭症学会))
- 3 特発性正常圧水頭症の髄液不均等分布及び脳白質障害と L-PGDS についての研究
(西田南海子、永田奈々恵 (東京大学農学部・農学生命科学研究科) 他)
- 4 胚細胞腫瘍の治療経過に関する検討
(西田南海子、戸田弘紀、塩田光隆)
- 5 振戦治療の神経学的基盤を探る研究
(西田南海子、戸田弘紀)
- △ 6 振戦の外科的治療を導く脳構造変化を探る研究
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(西田南海子)

第 8 研究部 (予防、医療疫学、検査医学研究部)

部長	高森 行宏	(健診部)
研究主幹	木内 俊一郎	(救急部)
	藤川 潤	(検査部)
	高橋 克	(歯科口腔外科)

健診部系

- 1 ドック健診における高感度 CRP 検査と生活習慣との関連について
(高森行宏)
- 2 ドック健診における膵がんの発見の契機について

- (高森行宏)
- 3 中年女性における健康意識および生活習慣と健診データとの関連性
(高森行宏)
 - 4 特定健診問診票での生活習慣改善意欲と生活習慣病因子の検討
(遠藤真紀子)
 - 5 働く世代における眼底検査の有用性
(遠藤真紀子)
 - 6 当院人間ドック女性受診者における脂肪肝の検討
(今田祐子)
 - 7 日本の子宮頸がん死亡・罹患率の年次変動と将来予測：ベイズ型 Age-Period-Coho (APC) 分析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 8 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Birth cohort analysis
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 9 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Joinpoint analysis
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 10 出生コホートによる子宮頸がん罹患率とリスクファクターの関連：相関・回帰分析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 11 子宮頸癌における年齢と予後の関連についての検討：多施設共同研究
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 12 北野病院医療情報を使用した HPV ワクチン接種状況の記述統計学的分析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 13 北野病院産婦人科癌登録データを使用した若年子宮頸癌および CIN3 の時系列分析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 14 日本における若年子宮頸がん予防対策の効果の推計
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - 15 子宮頸がん症例に対する手術療法・放射線療法（同時化学放射線療法）・化学療法の成績における年齢因子の影響の解析（日本産科婦人科学会データ）
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
 - △ 16 日本の子宮頸がん予防対策の課題と方向性の検討：時系列分析と予後解析
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(羽田敦子)

救急部系

- 1 集団災害時におけるヘリコプター救急医療ネットワークの構築
(木内俊一郎、新谷 裕)
- 2 スマートフォンを用いた個人医療情報通知システムの構築
(木内俊一郎、新谷 裕)
- 3 熱中症からの急性循環不全における凝固線溶系への影響
(木内俊一郎、新谷 裕)

検査部系

- 1 質量分析装置導入による細菌検査の迅速化の検討
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、羽田敦子、前田記代子)
- 2 細菌検査システムの構築と運用
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 3 微生物検査室からの情報発信の有用性
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 4 Loopamp Aspergillus F Detection Kit の基礎性能評価
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 5 GBS 増菌培地とラテックス凝集法を併用した GBS スクリーニング検査法の臨床性能評価の研究
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 6 マイクロスキャン PosCombo2T パネルの基礎性能に関する検討
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 7 Gene Xpert MTB/RIF「セフィエド」の基礎性能に関する検討
(小林賢治、宇野将一、中塚由香利、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 8 LAMP 法・GeneXpert・FilmArray を用いた COVID-19 遺伝子検査の比較検討
(宇野将一、中塚由香利、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)
- 9 IMMUNO AG2 導入による感染項目測定の有効性の検討
(中塚由香利、宇野将一、小林賢治、鋸本 遙、土屋咲子、藤森舞子、前田記代子)

歯科口腔外科系

- 1 希少疾患先天性無歯症治療薬の開発研究—Wnt シグナル&BMP シグナルに関連する難治性疾患治療への展開—
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業
(高橋 克)
- 2 健康寿命延伸に向けた、歯の数を増やす薬（歯生え薬）の開発
公益財団法人京都産業 21 「企業の森・産学の森」推進事業 事業化促進コース
(喜早ほのか、高橋 克)
- ※ 3 希少疾患先天性無歯症に対する歯数制御による歯の再生治療薬の開発研究
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業
(高橋 克)
- 4 エナメル上皮幹細胞を利用した歯の再生治療薬の開発研究
科学研究費補助金・基盤研究C
(高橋 克)
- 5 希少疾患先天性無歯症に対する、歯数回復薬の開発（抗体製剤）
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業
(喜早ほのか、高橋 克)

第 9 研究部 (薬学、生理学研究部)

部長	足立 健彦	(麻醉科)
研究主幹	尾上 雅英	(薬剤部)
	宮崎 嘉也	(集中治療部)
	加藤 茂久	(麻醉科)
	黒寄 明子	(麻醉科)

麻醉科系

- 1 麻醉台帳 I T 化を利用した周術期合併症の要因分析
(原 朋子)
- 2 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究
(直井紀子)
- 3 新生児、乳児の鏡視下手術の麻醉管理
(黒寄明子)
- 4 小児前投薬における経口ミダゾラムシロップの有用性に関する研究
(黒寄明子)
- 5 周術期における上肢静脈エコーの有用性に関する検討
(宮崎嘉也)
- 6 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻醉の有用性および安全性に関する研究
(加藤茂久)
- 7 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況
(加藤茂久)
- 8 当院における下肢切断術後の予後に関する研究
(加藤茂久)

薬剤部系

- 1 抗がん剤の副作用発現に関連する因子の探索
(尾上雅英、中多陽子、三宅麻文、近藤 篤)
- 2 電子カルテ機能を活用した医療安全システムの構築
(伊藤俊和、石川弘子、尾上雅英)
- 3 新入職職員や薬学部実習生に対する教育システムの開発
(上田 覚、伊藤俊和、尾上雅英)
- 4 AST活動が臨床医の管理抗菌薬選択に与える影響について
(上田 覚、高橋 有、小林和博、尾上雅英)
- 5 セフメタゾール注の投与回数別の有効性の比較検討
(上田 覚、伊藤俊和、高橋 有、小林和博、尾上雅英)
- 6 ジェネリック薬品導入前後の病院に与える経済的評価
(河原宏之、尾上雅英)
- 7 急性期病院における多剤併用高齢者に対する薬剤師介入と多職種協働による処方適正化について
(辻屋朝美、上ノ山和弥、日高貴生、野村勇太、岡田麻佑、尾上雅英)

- 8 眼科手術後の予防的経口抗菌薬中止による術後感染症発生率の影響について
(高橋 有、小林和博、尾上雅英)
- 9 新生児期の薬物動態変動機構の解析 (新生児における酢酸亜鉛製剤投与後の血清亜鉛及び血清銅の推移に関する個体間変動要因の解明)
(伊藤俊和、尾上雅英)
- 10 膵癌術後 S-1 補助化学療法 of 完遂率の調査および栄養介入による投与継続に対する取り組み
(上ノ山和弥、尾上雅英)
- 11 mFOLFOX6 療法中に来した高アンモニア血症を XELOX 療法へ変更することで回避できた DPD 遺伝子多型を伴う大腸癌の 1 症例
(上ノ山和弥、尾上雅英)
- 12 免疫チェックポイント阻害薬使用中の腎機能変動に関する研究
(上ノ山和弥、尾上雅英)

第 10 研究部 (看護学研究部)

部長 寺井 美峰子 (看護部)

- 1 急性期病院におけるスペシャリストとジェネラリストの育成への取り組み
(寺井美峰子)
- 2 JNA ラダーを活用した「北野キャリア開発ラダー」システムの構築
(花田季代子)
- 3 夜勤帯看護補助者 (ナイトアシスタント) の導入とシステム構築
(木戸宏美)
- 4 医療安全に関する多職種連携と実践力向上
(椎橋美月)
- 5 セラミド含有皮膚保護剤のストーマ周囲皮膚への影響
(松本 忍、佐藤恵美子、釘宮真紀)
- 6 「COVID19 対応看護師のストレスチェックを実施して身体的・精神的影響を考察して」
(亀澤 恵、楠本雅美、高橋美稀、稲村あづさ)
- 7 「手術室スタッフの患児に対する、ディストラクション実施の評価」
(島本真弓)

第 12 研究部 (東西医学研究部)

部長 福井 基成 (呼吸器 C 呼吸器内科)
研究主幹 東本 有司 (リハビリテーション科)
金尾 顕郎 (客員)
鈴木 雅雄 (客員)

- 1 非侵襲的陽圧換気併用による収縮能の保たれた心不全の運動耐容能改善に関する研究
(学術研究助成基金助成金 2018 年度 若手研究)

- (上坂建太、中根英策、猪子森明)
- 2 高齢心不全患者の転倒関連要因の検討
(上坂建太、久津輪正流、中根英策、猪子森明)
- 3 慢性心不全患者のフレイル実態調査
(上坂建太、吉田 都、鶴本一寿、中根英策、猪子森明)
- 4 消化器外科術後のリハビリテーション進行に関連する因子の検討
(松岡 森)
- 5 ADL 維持向上等体制加算導入が病院・患者に与える影響の検討
(松岡 森、北彩也香、村司憲三郎、本田憲胤、大洞佳代子)
- 6 ロボットスーツ HAL 実施による身体活動量への影響
(浦慎太郎、本田憲胤、大洞佳代子)
- 7 造血幹細胞移植患者における、EMS 刺激の効果と身体機能の関連
(久津輪正流、徳元翔子)
- 8 造血幹細胞移植患者の身体機能と栄養状態の関連
(徳元翔子、久津輪正流)
- 9 パーキンソン病における入院加療が身体活動量及び生活空間に及ぼす影響についての検討
(甲斐太陽、本田憲胤、大洞佳代子)
- 10 慢性呼吸不全患者の嚥下機能に対する喉頭挙上阻害因子についての検討
(富 謙伸、北彩也香、本田憲胤、大洞佳代子)
- 11 呼吸不全の身体機能と栄養状態の調査
(野村知里、本田憲胤、大洞佳代子)
- 12 SCU 入院患者における転帰に関わる要因の検討
(佐竹裕輝、辻本実奈美、甲斐太陽、則政里沙、本田憲胤、大洞佳代子)
- 13 くも膜下出血患者における電気刺激療法の効果について
(辻本実奈美、佐竹裕輝、甲斐太陽、則政里沙、本田憲胤、大洞佳代子)
- 14 SCU 専従セラピスト配置における業務改善について
(辻本実奈美、佐竹裕輝、甲斐太陽、則政里沙、本田憲胤、大洞佳代子)
- 15 訪問リハビリテーション利用者の Elderly Status Assessment 調査
(豊浦尊真、上坂建太、本田憲胤、大洞佳代子)
- 16 糖尿病教育入院患者の身体・社会的特徴の解明
(角田晃啓、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 17 ハイリスク児の発達支援に関する研究
(澤田優子、本田憲胤、成宮牧子、水本 洋)
- 18 デイケアにおけるサーキットトレーニングの身体機能に及ぼす効果に観察研究
(本田憲胤、矢木崇善、渡辺健太)

(2) 地域医療研修センター事業・研究会の開催

1)	学術講演会・研究所発表会	1回
2)	研究所セミナー	5回
3)	吸入指導ネットワーク講習会	1回
4)	呼吸器専門医のためのとことんセミナー	1回
5)	Osaka Respiratory Expert Seminar	2回
6)	ネーザルハイフロー療法勉強会（事務局）	1回
7)	天満ナイトミーティング	1回
8)	扇研究会	1回
9)	新 SONES 会	1回
10)	北野心臓血管疾患研究会	1回
11)	脂質と循環器疾患を考える会	1回
12)	北大阪プライマリケアミーティング	2～3回
13)	大阪胆膵内視鏡ライブ	1回
14)	腎臓病教室	8回
15)	北野病院キドニーデイ	1回
16)	糖尿病性腎臓病診療を考える会（旧 K2-NET）（共催）	2回
17)	大阪慢性腎臓病対策協議会（O-CKDI）（共催への参加）	3回
18)	Onco-nephrology 研究会（共催への参加）	3回
19)	CKD フロンティア（共催への参加）	1回
20)	ソルトクラブ（共催への参加）	1回
21)	新関西腎疾患カンファレンス（共催への参加）	10～12回
22)	血管炎フォーラム	1回
23)	IgA 腎症研究会（共催への参加）	1回
24)	腎と脂質研究会（共催への参加）	1回
25)	大阪透析研究会（共催への参加）	1回

26)	近畿在宅血液透析フォーラム（共催への参加）	-----	1回
27)	腎臓内科・移植研究会 in 関西（共催への参加）	-----	1回
28)	透析療法従事職員研修	-----	1回
29)	大阪糖尿病合併症と医療連携の会	-----	2回
30)	大阪糖尿病・内分泌倶楽部	-----	2回
31)	大阪動脈硬化症セミナー	-----	1回
32)	大阪 B.B.DM フォーラム	-----	1回
33)	北野臨床血液セミナー	-----	1回
34)	医学生・若手医師のための小児科医療最前線	-----	1回
35)	北野小児科学術講演会	-----	1回
36)	北大阪感染症研究会	-----	1回
37)	研修医のための消化器外科セミナー	-----	1回
38)	手術室看護師のためのチーム養成セミナー	-----	1回
39)	北大阪消化器外科合同カンファレンス	-----	1～2回
40)	大阪スペシャルミックス外科講演会	-----	3～4回
41)	消化器センターK2-NET	-----	1回
42)	遺伝性腫瘍セミナー	-----	3～4回
43)	扇町 Breast Cancer Conference	-----	1回
44)	きたの産婦人科セミナー	-----	1～2回
45)	北大阪眼科セミナー眼科臨床検討会	-----	3回
46)	扇町糖尿病内分泌内科・眼科合同研究会	-----	1回
47)	北野耳鼻咽喉科病診連携の会	-----	2回
48)	耳鼻咽喉科内視鏡手術手技研究会	-----	1回
49)	市民公開講座（難聴をどう乗り越えるか）	-----	3回
50)	側頭骨研究会	-----	1回
51)	呼吸器病理研究会	-----	1回

- 5 2) 大阪バイオリジックフォーラム ----- 1 回
- 5 3) 大阪市北区薬剤師会研修会（地域連携充実加算） ----- 1 回
- 5 4) 先天性無歯症臨床研究会 ----- 2 ～ 3 回
- 5 5) リンパ浮腫研修会 ----- 1 回

(3) 学会発表

(4) 論文発表

(5) 講演・執筆

(6) 紀要の刊行

2021 年度事業計画

1. 2020 年度を振り返って

(1) 財団設立 90 周年記念事業の展開

放射線領域の拡充や本館診療機能の強化を目的とした新館建設は、地中埋設物の影響で当初予定より 11 ヶ月遅延の 2020 年 11 月に竣工した。2021 年 3 月の始動に向け、新館移転推進プロジェクトチームを中心に準備を進めている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により内覧会が中止となったことから、新館に配置予定の放射線治療機器については YouTube での市民医療講座のライブ配信や当院公式 HP・SNS 上での発信等を広報活動の中心とした。

(2) 経営の安定化に向けた取組み

① 新入退院患者の確保

a) 救急

重症患者の入院確保のため、救急受入体制の再構築を行った。

今年度の課題であった不応需率の改善については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一時的に不応需率が高い時期もあったが、入院率の向上のため救急入院に対する医師インセンティブの制度導入や副院長をリーダーとした体制の再整備も行い不応需率が改善された。

b) 手術件数

2020 年 4～12 月の件数は、全身麻酔 2,408 件（前年比▲29 件）、局所麻酔 2,209 件（前年比▲563 件）と新型コロナウイルス感染症拡大の煽りを受け、全体的に件数が減少した。中でも局所麻酔が大幅に減少しており、重症度の低い患者の来院が少なかったことが原因だと考えられる。コロナ感染の第 1 波であった第 1 四半期の時期では全身麻酔、局所麻酔ともに大幅な減少となったが、以降は徐々に改善し、第 3 四半期では全身麻酔が昨対で上回る状況で継続していることから、入院診療単価は過去最高水準となっている。

② 病床機能や適性病床数の検討

新型コロナウイルス感染症拡大の第 1 波の際、大阪府からの要請で当初 2020 年度末に返還を計画していた精神科病床の一部を 4 月中旬から 5 月中旬にかけて新型コロナ専用の隔離病床として時限的に運用し、中等症の陽性患者を受け入れた。この時点では改修工事を進めている一部の一般病棟を除く 640 床（急性期一般 599 床、高度急性期 41 床、感染 10 床）が稼働病床であったが、8 月以降の第 2 波を受けて陽性患者の受入を開始すると、看護師の数やゾーニングの問題、一部診療科における入院患者の減少といった要因から稼働病床は 612 床（急性期一般 557 床、高度急性期 41 床、感染 14 床）まで減少している。2022 年度には NICU を 12 床から 9 床に縮小し、GCU を 6 床から 12 床に拡充する病棟再編計画も控えており、2025 年に向けて推進が加速する地域医療構想との整合性を意識しつつ、健全な病院経営のための適正な病床数の検討を進めていく。

③ 診療報酬改定への対応

令和 2 年度診療報酬改定では医療従事者の働き方改革に関連する改定が多く盛り込まれており、タスクシェア・シフト推進委員会を立ち上げ、実効的な計画の立案と推進を行っている。

これと関連して「地域医療体制確保加算」を4月1日より、「夜間100対1急性期看護補助体制加算」を5月1日よりそれぞれ算定開始した。また、重症度、医療・看護必要度Ⅱにおける評価項目の追加や術後の評価日数の延伸等の改定を受け、看護部を中心に医療情報部・医事課・経営企画課等の関連部門が連携し、必要度Ⅰによる日々のモニタリングや課題を抱える病棟や診療科への介入を行った。既に必要度Ⅱの基準値（29%）を常時上回ってはいるが、基準値+5%程度での高位安定を目指し、引き続き活動していく予定である。

④ コロナ禍におけるリバイバル・プランの策定と実践

収入増加、費用削減に係る49項目に及ぶアクション・プランを策定し、患者の視点、業務プロセスの視点、財務の視点、学習・成長の視点における各種施策を実践してきた。2020年度では約8億円以上の利益出しが出来るところまで成果が積みあがったが、コロナ禍の影響は甚大で当初予算収入から約20億円の減収を余儀なくされた。コロナ関連補助金により最終利益は黒字を確保できる予定である。

⑤ 業務のIT・ICT化

医療情報部において「北野病院医療情報グランドデザイン2020」が検討されており、ロードマップに沿った計画的なIT・ICT化が進められている。これまでの導入事例は下記のとおり。

1) 新型コロナウイルス感染症対策関連

- ・「密」を回避し、カンファレンス等を行える院内WEB会議システムの導入
- ・時間や場所を選ばず柔軟に教育・研修を受けられるクラウド型e-learningシステムの導入
- ・WEB上で医師と患者が対面してセカンドオピニオンを受けられるオンライン診療システム（CLINICS）の導入

2) 働き方改革関連

- ・正確性の向上と業務の効率化につながる保険資格情報確認の自動化（マイナンバーへの対応）
- ・問診書・同意書のスキャニング作業の省力化及び印刷コストの削減につながる電子問診システムの導入
- ・医師から臨床工学技士へのタスクシフトを可能とする心臓ペースメーカー遠隔モニタリングシステム（ORFICE）の導入
- ・診療機能を向上させるAI画像診断システム（REiLi）の導入

（3）医療の質の向上に向けた取組み

① 働き方改革への対応

タスクシェア・シフト推進委員会及びその下位組織としてのコメディカル部門・看護部門・事務部門でのワーキンググループが設置され、医師の業務の一部を看護師やコメディカルに移管しつつ、移管先の各部門の日々の業務をより円滑化するための設備投資（具体的な導入事例は前述のとおり）を行ってきた。また、2020年度時点で1名であった特定行為看護師の計画的な養成も並行して進めており、2021年度には4名まで増加する予定である。引き続き計画的な特定行為看護師の養成に注力し、タスクシフトの推進につなげていく。

② 難聴・鼓膜再生センターの開設

4 月より難聴・鼓膜再生センターを開設した。自然には閉鎖しない鼓膜穿孔に対して通常の手術的処置を行わず、外来で 10 分間程度の簡単な処置で穿孔を閉鎖する、再生医学を活用した新しい治療法であることや、治療法が保険適用されたことにより、マスコミや患者からの注目を集め、開設当初から多くの問い合わせを受け、現在も多くの対象患者が全国から訪れている。

2. 2021 年度の計画

- ・2020 年度は全職員で「改善」に取り組んできたが、コロナ感染拡大に起因する外部環境の変化に伴い、従前の既成概念を白紙にし沈着した組織文化の一新を行うべく、2021 年度もさらなる「改善」活動を続けていくとともに、生産性・効率性を意識したうえで病院価値をさらに高めていくことを目標に業務改善に取り組んでいく。
- ・コロナ禍を前提に、2020 年度末に策定した 5 ヶ年の中期経営計画に基づいて各年度で目標とする経営指標を確実に達成することで収入と費用をバランスさせ、銀行借入の返済や医療機器の更新、本館の改修事業費等の設備投資をまかなうためのキャッシュフローを創出し、健全な病院経営を堅持していく。

(1) 財団設立 90 周年記念事業の継続

2021 年 3 月より新館の運用を開始するとともに、先進医療の実践、急性期医療への対応、快適・安全・清潔な医療環境の向上を基本方針とした本館の機能強化を行っていく。具体的には「本館リノベーション計画」に基づき、今後 3 年かけて NICU・GCU の改修、ICU と化学療法センター及び低侵襲治療センターの拡充、リハビリセンターと一部診療科の外来及び手術室の移転増設、既存の中央手術室の機能強化、ハイブリッド手術室の設置等を診療体制に支障を来すことなく安全・円滑に進めていく。

(2) 経営の安定化に向けた取組み

① 新入院患者の確保

a) 救急

重症患者の入院確保のため救急受入体制の再構築が急務である。中でも外科系の救急入院の割合が約 20%と低いため、緊急性を要する重症患者の受入フローを見直していく。また、救急不応需率の改善のため、救急隊からのファーストコールに際して受入即断と、密な院内連携とそのコミュニケーションに関して今一度検証が必要である。加えて、かかりつけ患者を優先するあまり初診患者の不応需件数が多いことも課題である。今後は内部体制の再構築と救急隊との症例検討会を定期開催し、顔の見える関係性の構築に努めていく。

b) 手術件数

コロナの影響により患者の受療抑制が大きかった第 1、2 四半期を除き、2020 年度後半を基準として 2021 年度の全身麻酔手術件数の昨対比で増加を図っていく。2020 年度の傾向を分析してみると、月間約 300 件の全身麻酔件数が実施されると入院診療単価は 85,000 円となる相関があることから、病床規模からすると手術室が少ない当院においては局所麻酔が減少している中で全身麻酔への手術室の活用シフトに注力していく必要がある。

② 病床機能や適性病床数の検討

生活のあらゆる場面で日常的に感染予防対策が講じられるようになったことで、その他の感染症に罹患する患者が減少し、一部の診療科で入院患者が減少している。一方で、高齢者の心疾患や脳血管疾患のリスクは低減しておらず、これまでそのような疾患を数多く受入れてきた一部の急性期病院における院内感染や、コロナ病棟の設置に伴う一般病棟の縮小などの煽りを受け、その受け皿が不足しつつある。当院においてもコロナ病棟の設置によって稼働可能な一般病床が減少し、多くの病棟で満床状態が続いている。地域医療構想との整合性や安定的で持続可能な病院経営の観点から各診療科の病床割合の見直しやダウンサイジング等も選択肢に入れつつ、地域の基幹病院として適正な医療機能と病床数を検討していく。

④ 働き方改革に伴う人事戦略の策定と実践

2024 年度から施行予定の「医師の健康・生命」と「地域医療提供体制」との両立を目指した「医師の働き方改革」では、勤務間インターバルや連続勤務制限など労務管理の徹底、労働時間の短縮を求められるが、その実効性をどのように確保していくかを検討していく。

また、医師以外の医療従事者に関しても業務負担軽減のためのタスク・シフティングの推進、ワークライフバランスに配慮した働き方改革への対応、病院保育事業の充実、育児・介護支援の充実などの男女共同参画事業の推進、及びハラスメント防止の推進など働きがいのある職場環境の整備・充実を進めるとともに、職員の定着率の向上に関して制度・仕組みづくりを実施する。

⑤ 業務の IT・ICT 化

2021 年 4 月に着任する新しい医療情報部長主導のもと、診療情報システムの高度化、省力化、効率化、合理化に資するデジタル化を引き続き推進するとともに、データの一元管理による横断的な分析や可視化を行い、再現性の高いデータドリブンの実現を目指す。

(3) 医療の質の向上に向けた取り組み

① 働き方改革への対応

2024 年の医師の労働時間規制を見据え、昨年立ち上げたタスクシェア・シフト推進委員会において引き続きタスク・シフティングによる負担軽減策を検討していく。また、同委員会の活動を実効的なものとするため、病院全体の「中期経営計画」や医療情報部の「医療情報グランドデザイン」等の各計画との整合性を図りつつ、システムや設備への投資によるハード面での支援を行う。ソフト面からは特定行為看護師やコメディカル、医師補助・看護補助事務員等の教育・育成を通じて質の向上を図るとともに医師の業務負担軽減を目指す。あわせて、勤務間インターバル制度も検討するなど勤務環境の改善を図りつつ、安定した雇用の維持に努める。

② がん治療の機能強化

高齢が危険因子である「がん」の診療機能を強化すべく、2021 年 4 月より新館に最新の「X 線 CT 組合型ポジトロン CT 装置 (PET-CT)」を導入し、がんの診断及び治療効果の検証における精度を向上させていく。また、その 2 ヶ月後には高度変調放射線治療に対応し、従来の機器よりも短時間で放射線治療が可能な「高精度放射線治療システム (リニアック)」が稼働する。加えて、子

宮頸がんや前立腺がん、乳がんなどの各種がんに対して手術に劣らない治療成績が報告されている「小線源装置（密封小線源）」も同じく 6 月に新館に導入される予定である。さらに、11 月には本館において化学療法センターの拡充も予定しており、がん薬物療法専門医による治療をより多くの患者に提供可能となる。以上の機能強化により、手術療法・化学療法・放射線治療を組み合わせつつ、それぞれの患者にとって最適ながん医療を提供していく。

③ 本態性振戦やパーキンソン病の「ふるえ」に対する新しい治療方法の提供

加齢とともに有病率が増加する本態性振戦やパーキンソン病による「ふるえ」に対する治療ニーズは、高齢化が進展する昨今において増加している。そんな中、2020 年 9 月 1 日に薬剤抵抗性振戦とジスキネジアを呈するパーキンソン病に対する経頭蓋 MR ガイド下集束超音波治療 (MRI/FUS) が保険収載された。この治療法ではメスで切ったり骨に穴を開けたりといった手術操作が不要で、超音波を用いて効果と安全性を確認しながら「ふるえ」を抑えることができるようになる。京都大学医学部附属病院との全面的な協力体制のもと、国内でもまだ導入施設の少ないこの治療装置を 2021 年 3 月より当院の新館に導入し、従来から行ってきた「脳深部刺激療法」「定位凝固術」に加えて 3 つめの「ふるえ」に対する治療メニューとして提供していく。

<主たる経営指標数値>

(A) 入院

	2019 年度 実績	2020 年度 着地見込み	2021 年度 計画	増減
患者数 (年間)	208,807 人	189,340 人	201,358 人	+12,018 人
診療単価 (室料含む)	78,806 円	84,001 円	82,959 円	△1,042 円
診療単価 (室料除く)	74,075 円	79,907 円	78,930 円	△978 円
新入院患者数 (月間)	1,636 人	1,441 人	1,559 人	+118 人
病床稼働率	88.3%	84.8%	90.1%	+5.3%
平均在院日数	9.6 日	9.9 日	9.8 日	△0.1 日

(B) 外来

	2019 年度 実績	2020 年度 着地見込み	2021 年度 計画	増減
患者数 (年間)	417,895 人	367,902 人	399,996 人	+32,094 人
診療単価	19,853 円	19,124 円	19,942 円	+818 円

※診療単価 : ドック受診者は含まない。

(C) その他

	2019 年度 実績	2020 年度 着地見込み	2021 年度 計画	増減
紹介率	77.3%	76.0%	76.0%	±0.0%
逆紹介率	151.9%	163.0%	165.0%	+2.0%